



地形としては、海岸部の中土佐地区（久礼地区・上ノ加江地区・矢井賀地区）と山々に囲まれた海拔 300m以上の台地部の大野見地区とに大きく二分されている。中土佐地区は、北西及び西南に山嶺が連立し、尾根の先端は土佐湾に突出して岬となり、壁状の海岸線を形成している。また、これらの山嶺に源を発する数本の中小



河川が土佐湾に流れ込んでおり、河口域は漁港、河川流域には平野が散在して、農耕地を形成している。一方、大野見地区は四万十川上流域に開けた地区であり、地区内を蛇行する四万十川が地区をほぼ東西に二分し、その両岸に耕地が開け、集落が点在している。

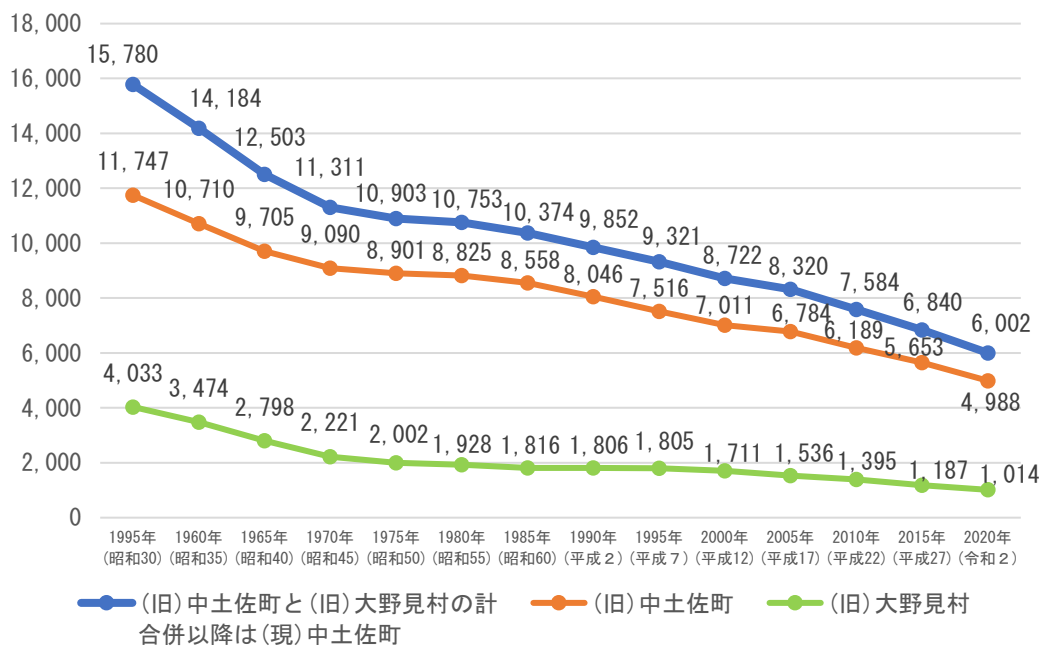
日本最後の清流四万十川、緑豊かな山野、青い海、土佐湾に展開するリアス式の海岸線などの変化に富む風致を備える自然環境に恵まれた町である。

図：本町の地形

## 2-1-2. 人口

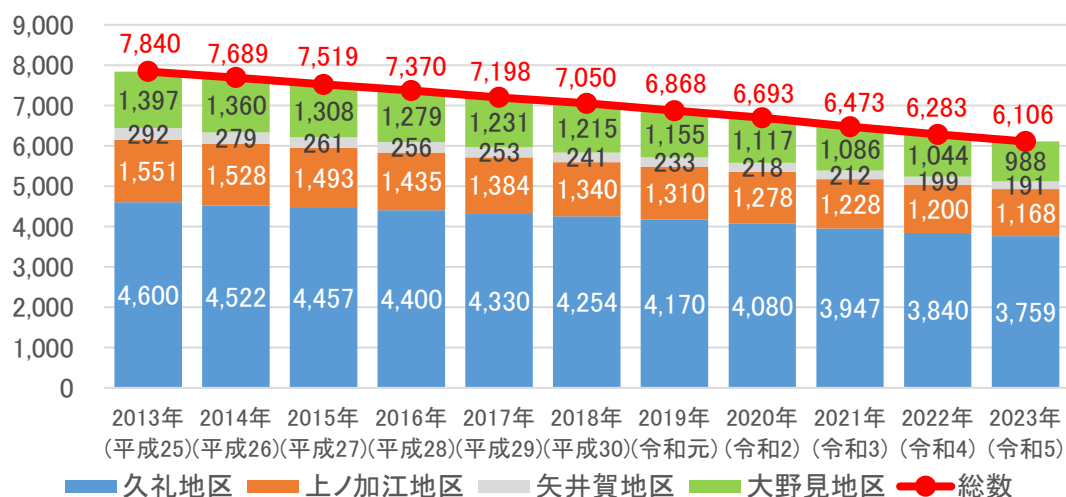
### (1) 人口及び世帯数の推移

図：人口別の推移（人）

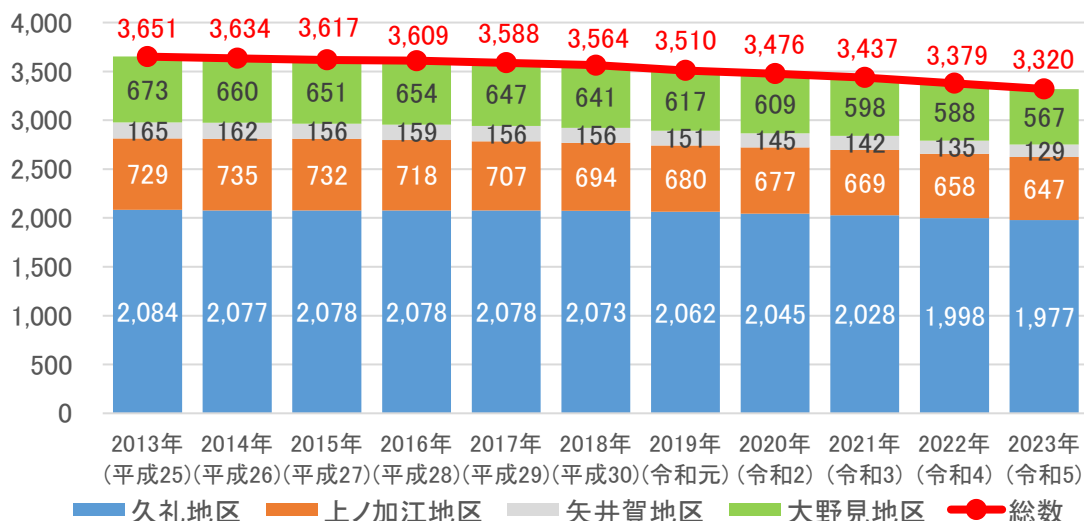


出典：国勢調査結果

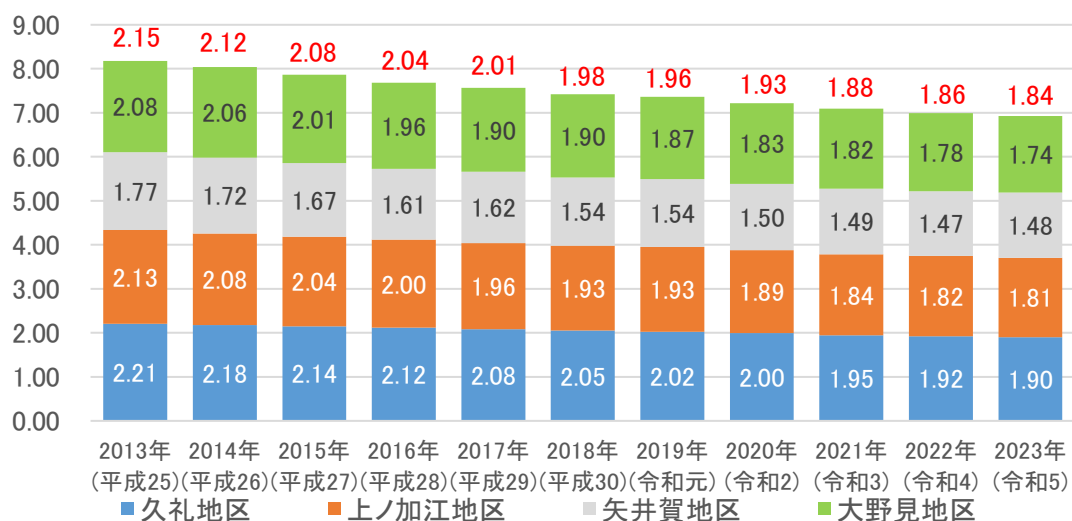
図：地区別人口推移（人）



図：地区別世帯数の推移（世帯）



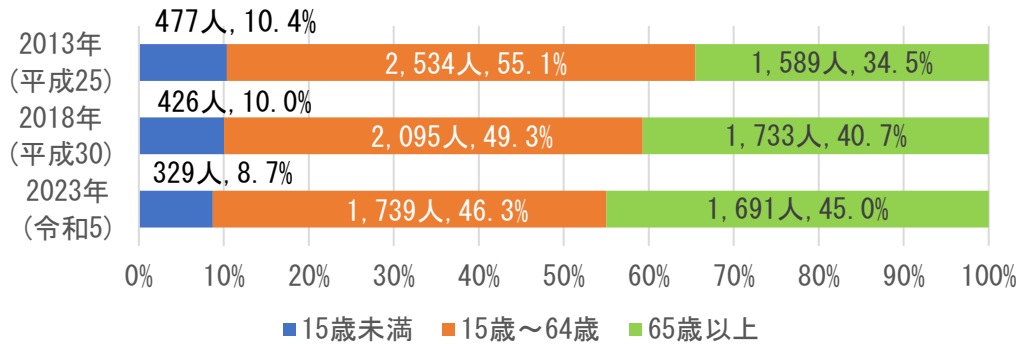
図：一世帯当たりの構成人員の推移（人）



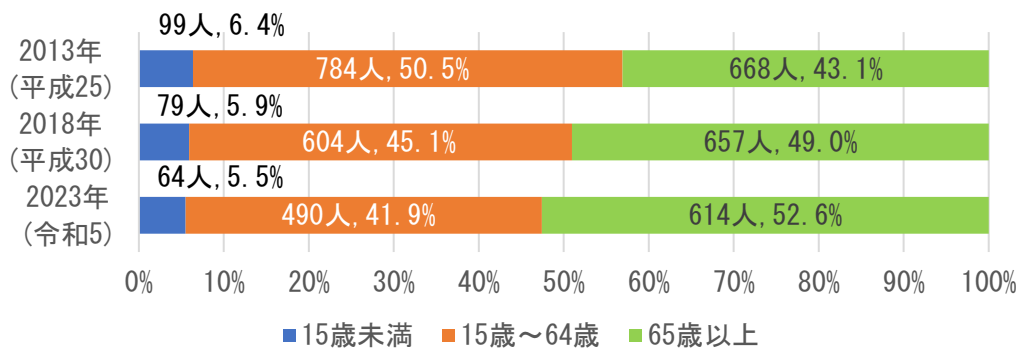
出典：中土佐町住民基本台帳（各年1月1日時点）

## (2) 地区別年齢三区分人口の推移

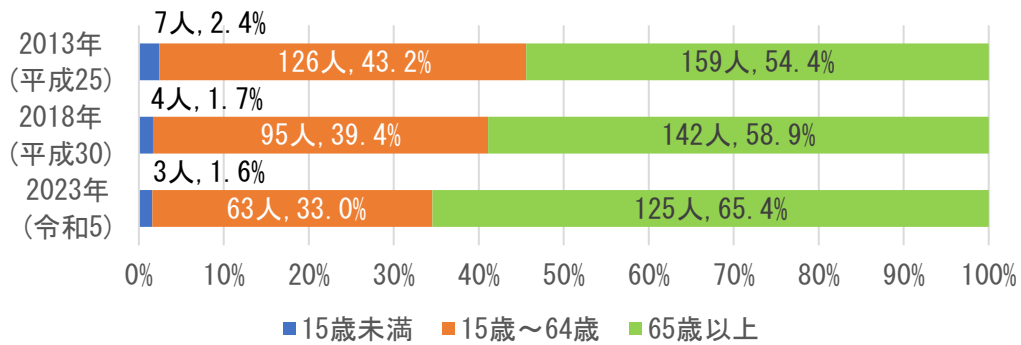
### □ 久礼地区



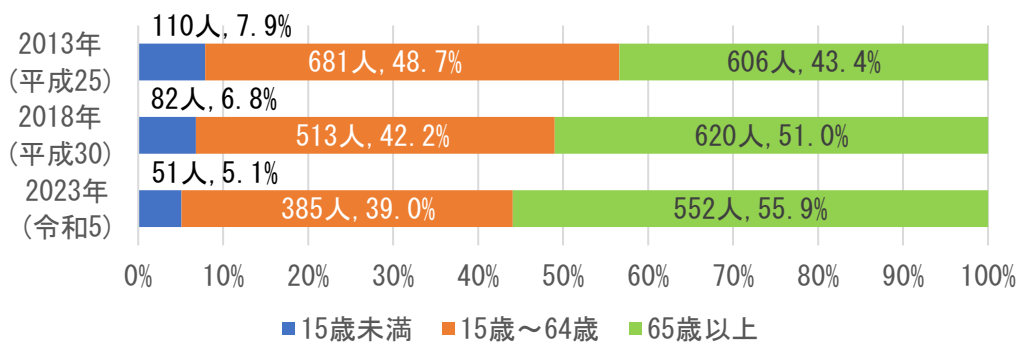
### □ 上ノ加江地区



### □ 矢井賀地区



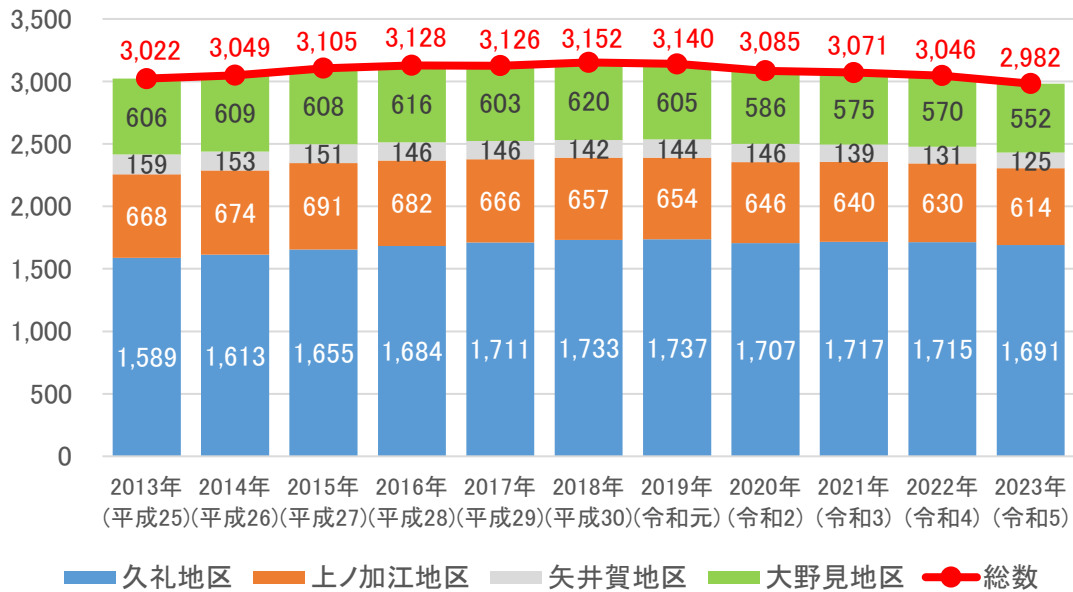
### □ 大野見地区



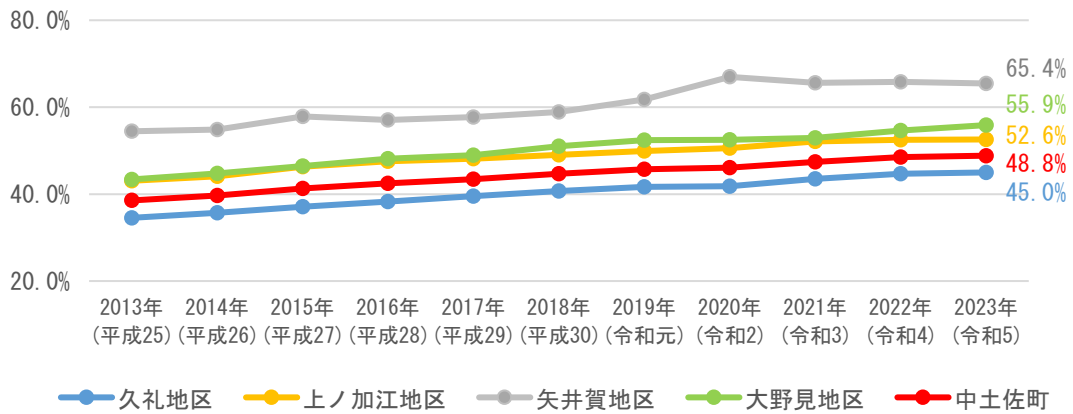
出典：中土佐町住民基本台帳（各年1月1日時点）

### (3) 地域の高齢化

図：地区別 65 歳以上人口推移（人）



図：地区別高齢化率



出典：中土佐町住民基本台帳（各年 1 月 1 日時点）

表：高齢夫婦世帯及び高齢独居世帯

	一般世帯数	高齢夫婦世帯		高齢独居世帯	
		数	割合	数	割合
全国	55,704,949	6,533,895	11.7%	6,716,806	12.1%
高知県	314,330	42,705	13.6%	55,958	17.8%
中土佐町	2,692	511	19.0%	669	24.9%

※ 高齢夫婦世帯は、夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯

出典：令和 2 年国勢調査結果

(4) 行政区別人口

表：久礼地区の行政区別人口の推移（人）  
2013（平成25）年－2023（令和5）年

番号	久礼地区	2013年 (平成25)	2023年 (令和5)	増減率
1	伊屋北	137	103	-24.8%
2	伊屋南	22	16	-27.3%
3	古谷	51	47	-7.8%
4	奥の谷	16	13	-18.8%
5	元	63	44	-30.2%
6	新元町	43	29	-32.6%
7	寿町	49	39	-20.4%
8	中大坂	91	68	-25.3%
9	奥大坂	45	30	-33.3%
10	長沢奥	18	12	-33.3%
11	長沢中上	63	64	1.6%
12	長沢中下	140	165	17.9%
13	長沢下	102	83	-18.6%
14	常賢寺	224	201	-10.3%
15	大新改	194	130	-33.0%
16	川崎	68	44	-35.3%
17	芝	35	27	-22.9%
18	ゆづりは	5	2	-60.0%
19	楠の川	20	16	-20.0%
20	黒石野	50	35	-30.0%
21	桃浦	25	15	-40.0%
22	観音堂	24	18	-25.0%
23	松の川上	24	26	8.3%
24	松の川下	57	46	-19.3%
25	大榎	53	46	-13.2%
26	道の川上一	61	54	-11.5%
27	道の川上二	35	21	-40.0%
28	道の川下	41	25	-39.0%
29	萩原	73	62	-15.1%
30	的場	29	19	-34.5%
31	上和田	64	50	-21.9%
32	小鎌田	50	35	-30.0%
33	鎌田西	118	88	-25.4%
34	鎌田東	84	70	-16.7%
35	築港西	31	15	-51.6%
36	築港東	46	37	-19.6%
37	大野	67	51	-23.9%
38	永久町	132	114	-13.6%
39	横町	23	22	-4.3%
40	北町	39	33	-15.4%
41	上町	23	21	-8.7%
42	旭町	24	14	-41.7%
43	仲の町	15	15	0.0%
44	栄町	52	48	-7.7%
45	札場西	18	23	27.8%
46	札場東	26	32	23.1%
47	駅前町	62	56	-9.7%

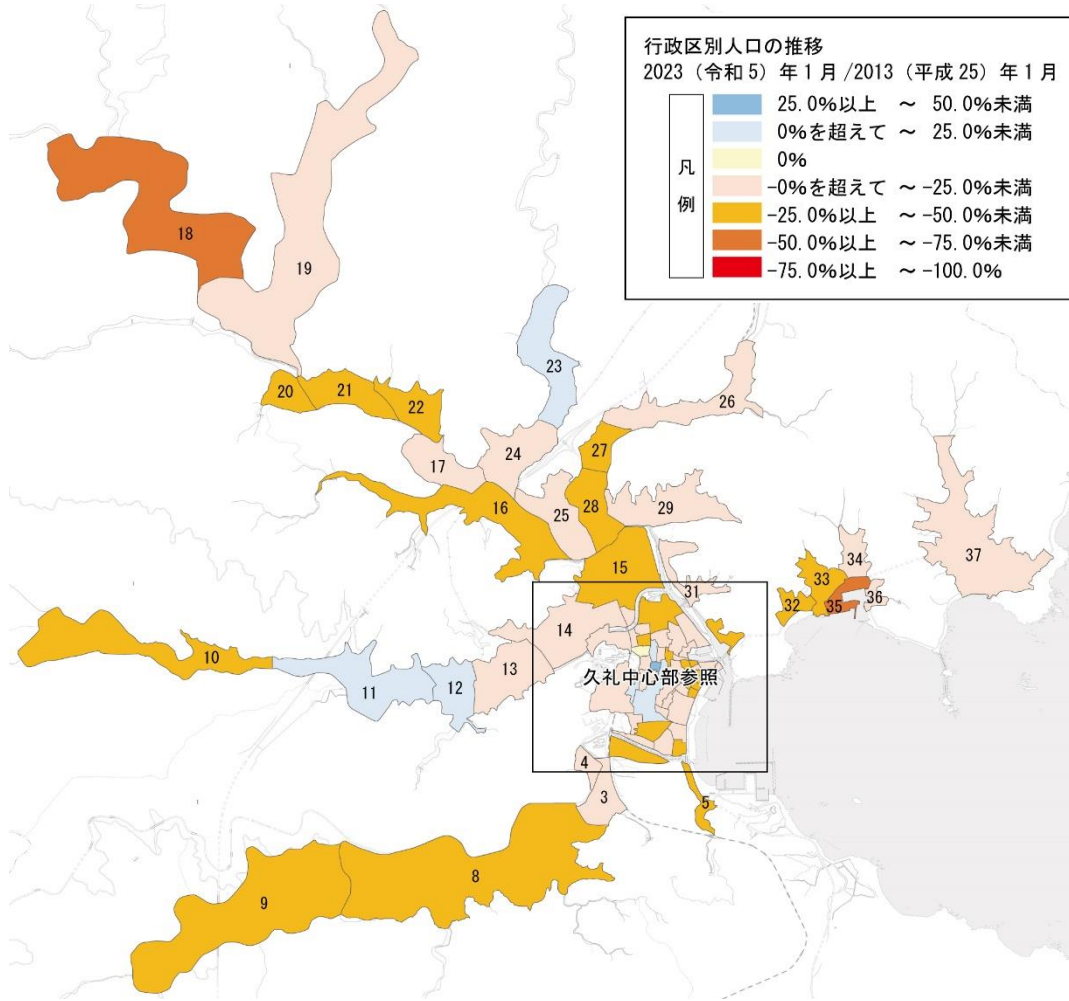
番号	久礼地区	2013年 (平成25)	2023年 (令和5)	増減率
48	駅前新町	49	50	2.0%
49	南新町	28	32	14.3%
50	神山東	41	36	-12.2%
51	神山西	60	52	-13.3%
52	新開町	96	86	-10.4%
53	西町	41	35	-14.6%
54	八幡西	103	85	-17.5%
55	八幡東	25	19	-24.0%
56	宮の下	33	29	-12.1%
57	八幡前	78	66	-15.4%
58	天神町	33	23	-30.3%
59	曙町	50	37	-26.0%
60	恵美須町（久）	66	40	-39.4%
61	港西	34	28	-17.6%
62	港東	30	26	-13.3%
63	大正東一	25	16	-36.0%
64	大正東二	24	14	-41.7%
65	大正西一	32	26	-18.8%
66	大正西二	41	29	-29.3%
67	住吉東	60	47	-21.7%
68	住吉西	61	49	-19.7%
69	駅前通東一	48	35	-27.1%
70	駅前通東二	29	21	-27.6%
71	駅前通西	18	15	-16.7%
72	中島西	43	45	4.7%
73	中島南	23	19	-17.4%
74	末広町	109	94	-13.8%
75	中島北	34	25	-26.5%
76	中島東表	25	20	-20.0%
77	中島東裏一	45	43	-4.4%
78	中島浦二	195	153	-21.5%
79	港橋通り	138	124	-10.1%
施設	双名園	91	76	-16.5%
80	桜町	60	40	-33.3%
	久礼地区小計	4,600	3,759	-18.3%

凡 例	
	25.0%以上 ~ 50.0%未満
	0%を超えて ~ 25.0%未満
	0%
	-0%を超えて ~ -25.0%未満
	-25.0%以上 ~ -50.0%未満
	-50.0%以上 ~ -75.0%未満
	-75.0%以上 ~ -100.0%

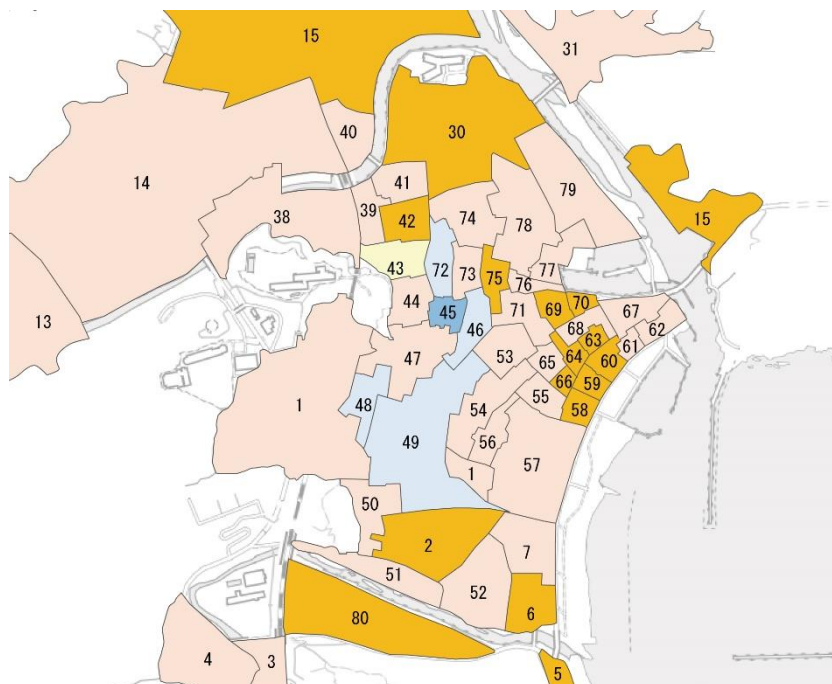
出典：中土佐町住民基本台帳（各年1月1日時点）



図：久礼地区の行政区別に見た人口の変化






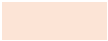



図：久礼中心部の行政区別に見た人口の変化



表：上ノ加江地区の行政区別人口の推移（人）  
2013（平成25）年－2023（令和5）年

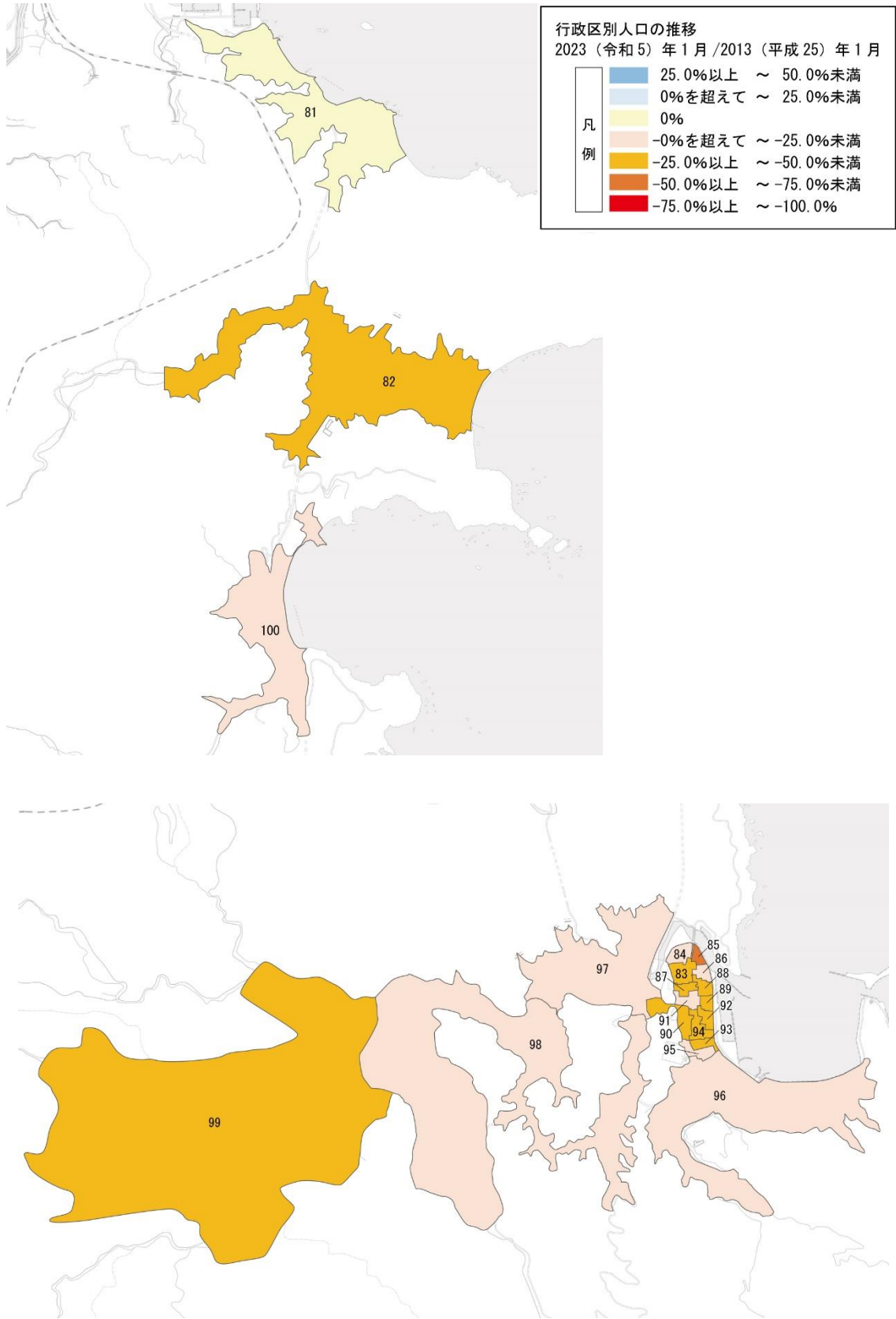
番号	上ノ加江地区	2013年 (平成25)	2023年 (令和5)	増減率
81	小草	13	13	0.0%
82	笹場	254	188	-26.0%
83	魁町	47	34	-27.7%
84	両栄町	29	25	-13.8%
85	日の出町	36	18	-50.0%
86	港町	34	27	-20.6%
87	丸の内	38	26	-31.6%
88	恵美須町（上）	78	58	-25.6%
89	天王町	30	19	-36.7%
90	朝日町	69	45	-34.8%
91	鏡町	27	23	-14.8%
92	常盤町	46	28	-39.1%
93	8区	43	30	-30.2%
94	9区	66	45	-31.8%
95	10区	92	84	-8.7%
96	網代	265	208	-21.5%
	矢田部	0	0	
97	下大川内	93	83	-10.8%
98	上大川内	109	82	-24.8%
99	山内	125	88	-29.6%
100	押岡	57	44	-22.8%
	上ノ加江地区小計	1,551	1,168	-24.7%

出典：中土佐町住民基本台帳（各年1月1日時点）

凡 例	
	25.0%以上 ～ 50.0%未満
	0%を超えて ～ 25.0%未満
	0%
	-0%を超えて ～ -25.0%未満
	-25.0%以上 ～ -50.0%未満
	-50.0%以上 ～ -75.0%未満
	-75.0%以上 ～ -100.0%



図：上ノ加江地区の行政区別に見た人口の変化


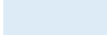
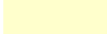



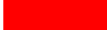


表：矢井賀、大野見地区の行政区別人口の推移（人）

2013（平成25）年－2023（令和5）年

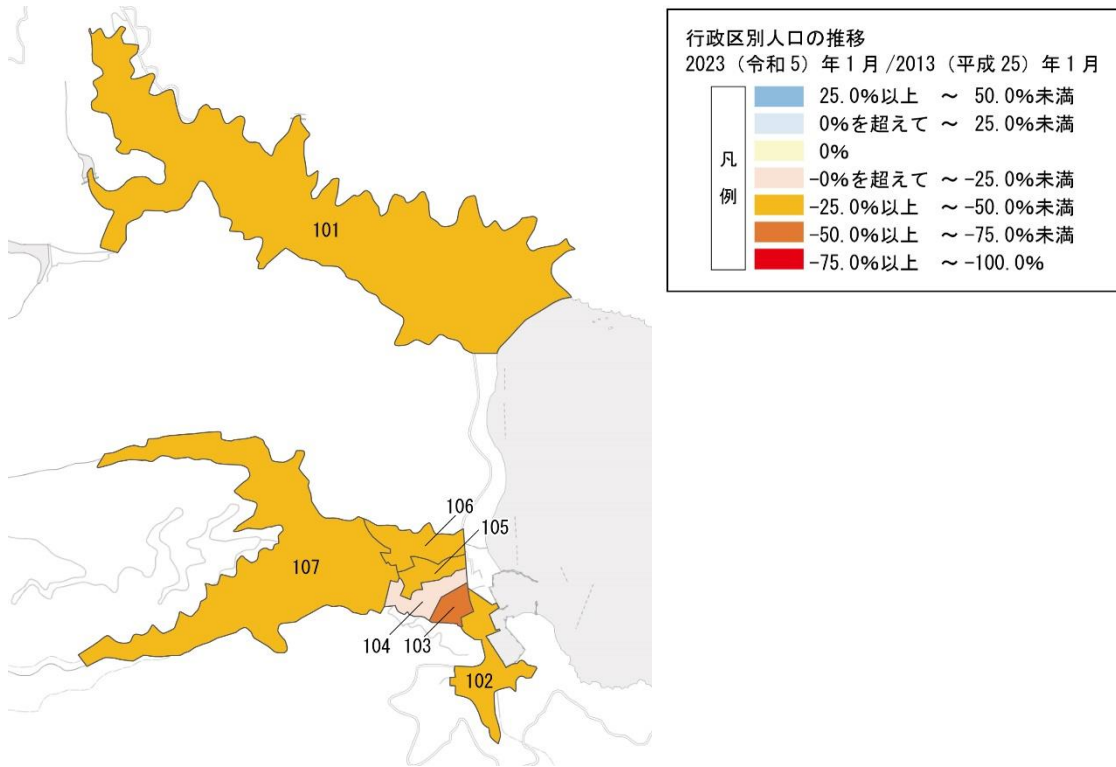
番号	矢井賀地区	2013年 (平成25)	2023年 (令和5)	増減率
101	小矢井賀	67	48	-28.4%
102	矢井賀1区	41	21	-48.8%
103	矢井賀2区	32	16	-50.0%
104	矢井賀3区	43	34	-20.9%
105	矢井賀4区	26	18	-30.8%
106	矢井賀5区	37	24	-35.1%
107	矢井賀6区	46	30	-34.8%
	矢井賀地区小計	292	191	-34.6%

番号	大野見地区	2013年 (平成25)	2023年 (令和5)	増減率
108	野老野	38	23	-39.5%
109	竹原	75	49	-34.7%
110	楯ノ川	18	8	-55.6%
施設	せせらぎ園	33	30	-9.1%
111	芹田	20	12	-40.0%
112	川奥	8	5	-37.5%
113	長野	16	11	-31.3%
114	三ツ又	10	7	-30.0%
115	楨野々	76	57	-25.0%
116	伊勢川	37	28	-24.3%
117	奈路	120	74	-38.3%
118	官行	5	2	-60.0%
119	喜田	96	90	-6.3%
120	奈路団地	59	34	-42.4%
121	島ノ川	2	0	-100.0%
122	吉野	269	194	-27.9%
施設	大野見荘	50	43	-14.0%
123	橋谷	11	3	-72.7%
124	久万秋	50	34	-32.0%
125	荒瀬	27	19	-29.6%
126	神母野	63	46	-27.0%
127	寺野	37	31	-16.2%
128	大股	66	42	-36.4%
129	萩中下	42	33	-21.4%
130	萩中団地	36	22	-38.9%
131	萩中上	75	52	-30.7%
132	下ル川	58	39	-32.8%
	大野見地区小計	1,397	988	-29.3%

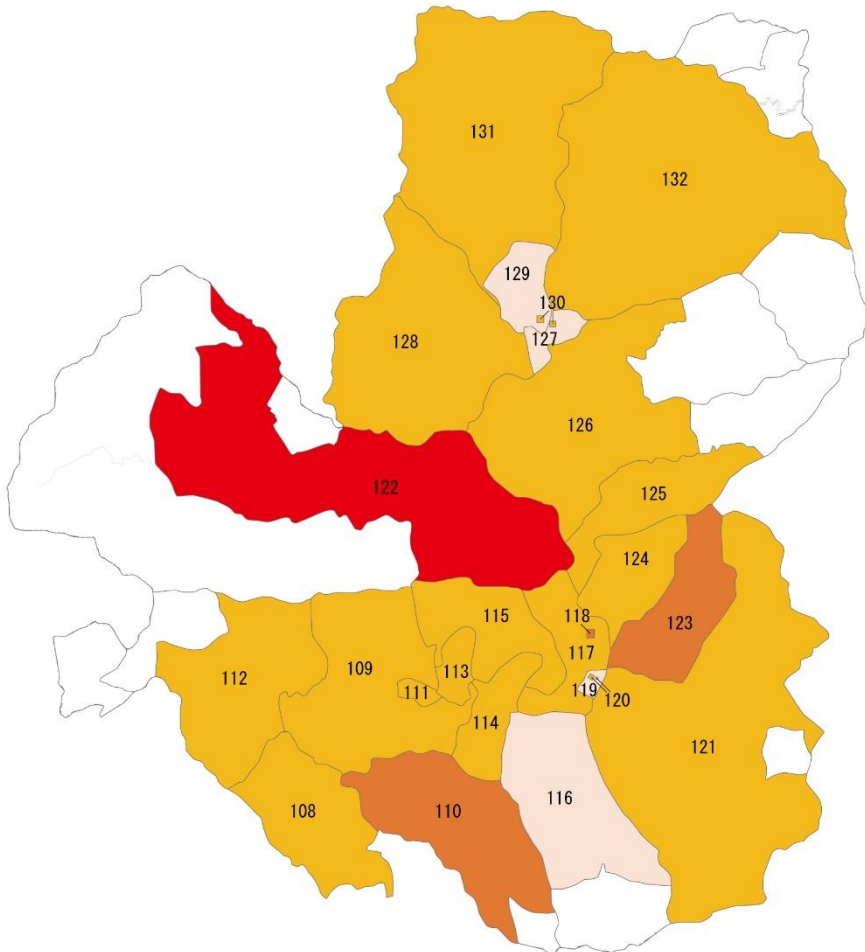
凡 例	
	25.0%以上 ~ 50.0%未満
	0%を超えて ~ 25.0%未満
	0%
	-0%を超えて ~ -25.0%未満
	-25.0%以上 ~ -50.0%未満
	-50.0%以上 ~ -75.0%未満
	-75.0%以上 ~ -100.0%

出典：中土佐町住民基本台帳（各年1月1日時点）

図：矢井賀地区の行政区別に見た人口の変化

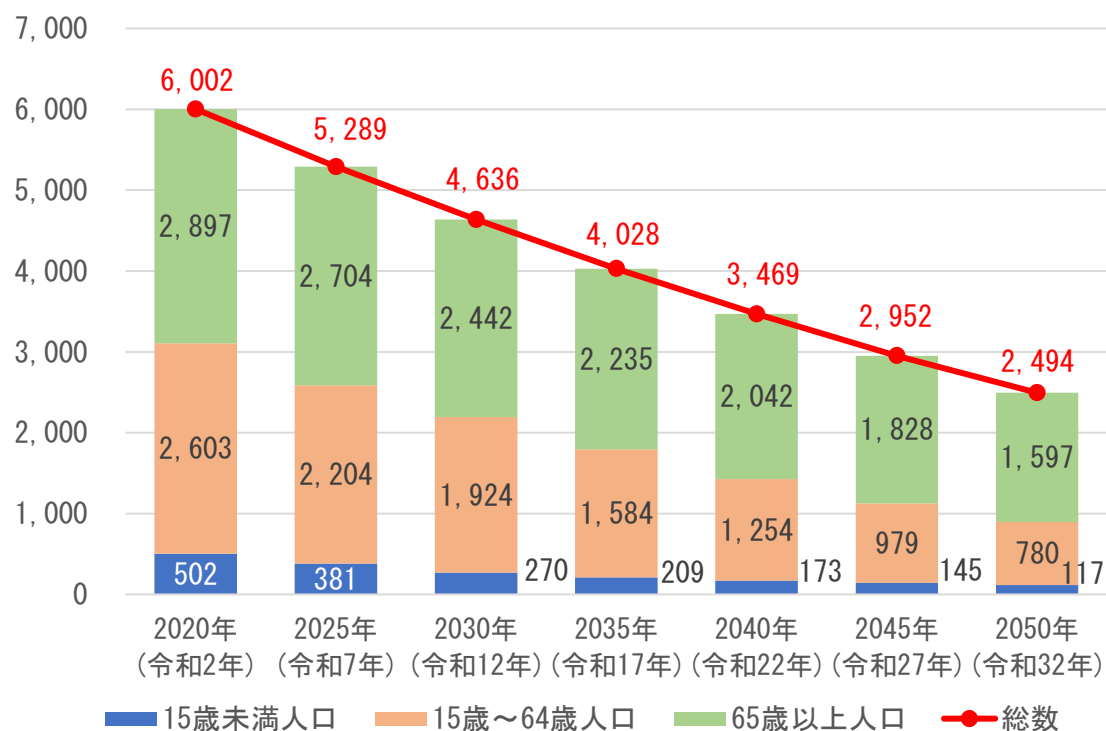


図：大野見地区の行政区別に見た人口の変化



## (5) 人口の将来推計

図：年齢区分別将来人口の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（2023（令和5）年推計）」

## 2-1-3. 通勤・通学流動

### (1) 昼夜間人口比

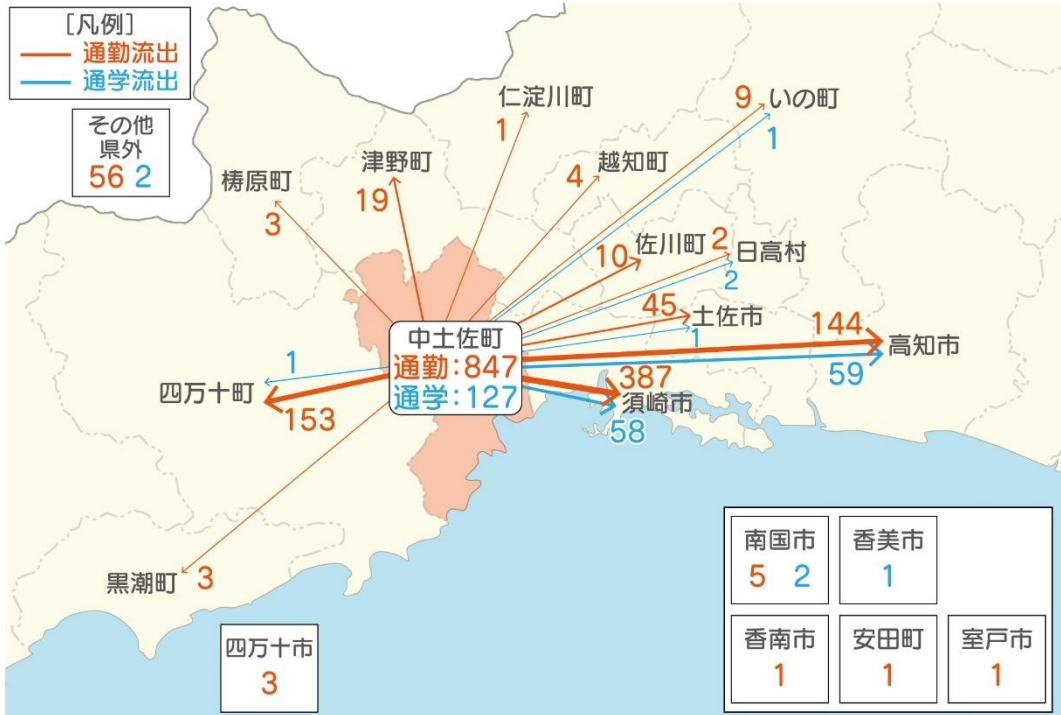
表：本町の昼夜間人口の比較

常住人口	昼間人口	昼夜間人口差	昼夜間人口比率
6,002 人	5,614 人	▲388 人	93.5%

出典：2020（令和2）年国勢調査結果

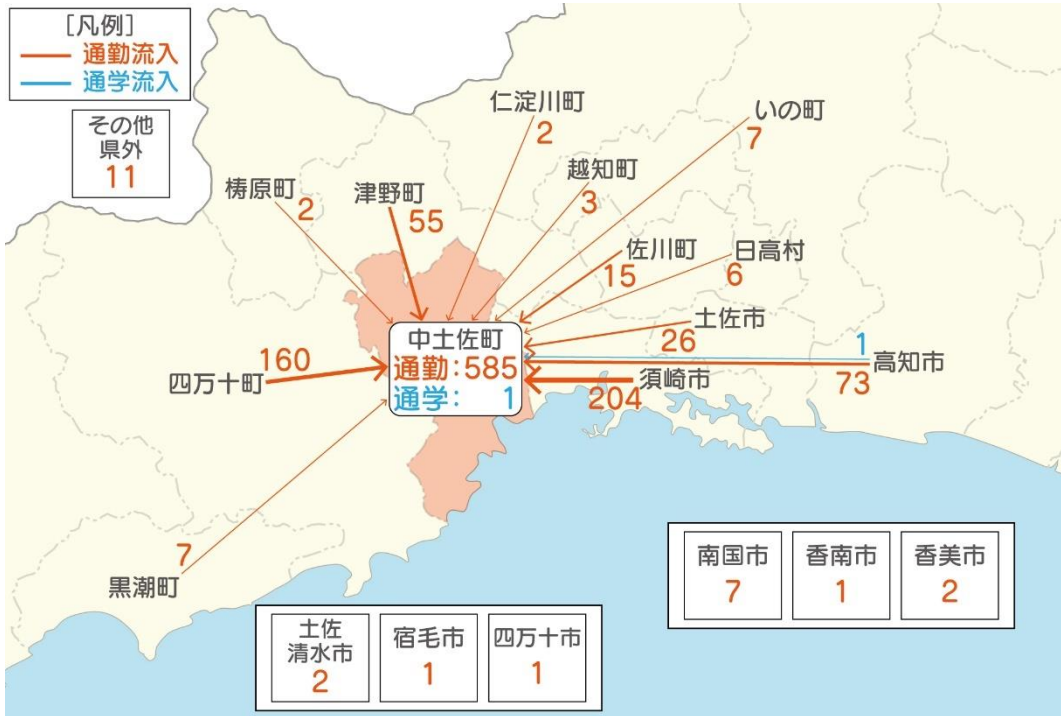
(2) 通勤・通学流動

図：本町からの通勤・通学流出



出典：2020（令和2）年国勢調査結果

図：本町への通勤・通学流入



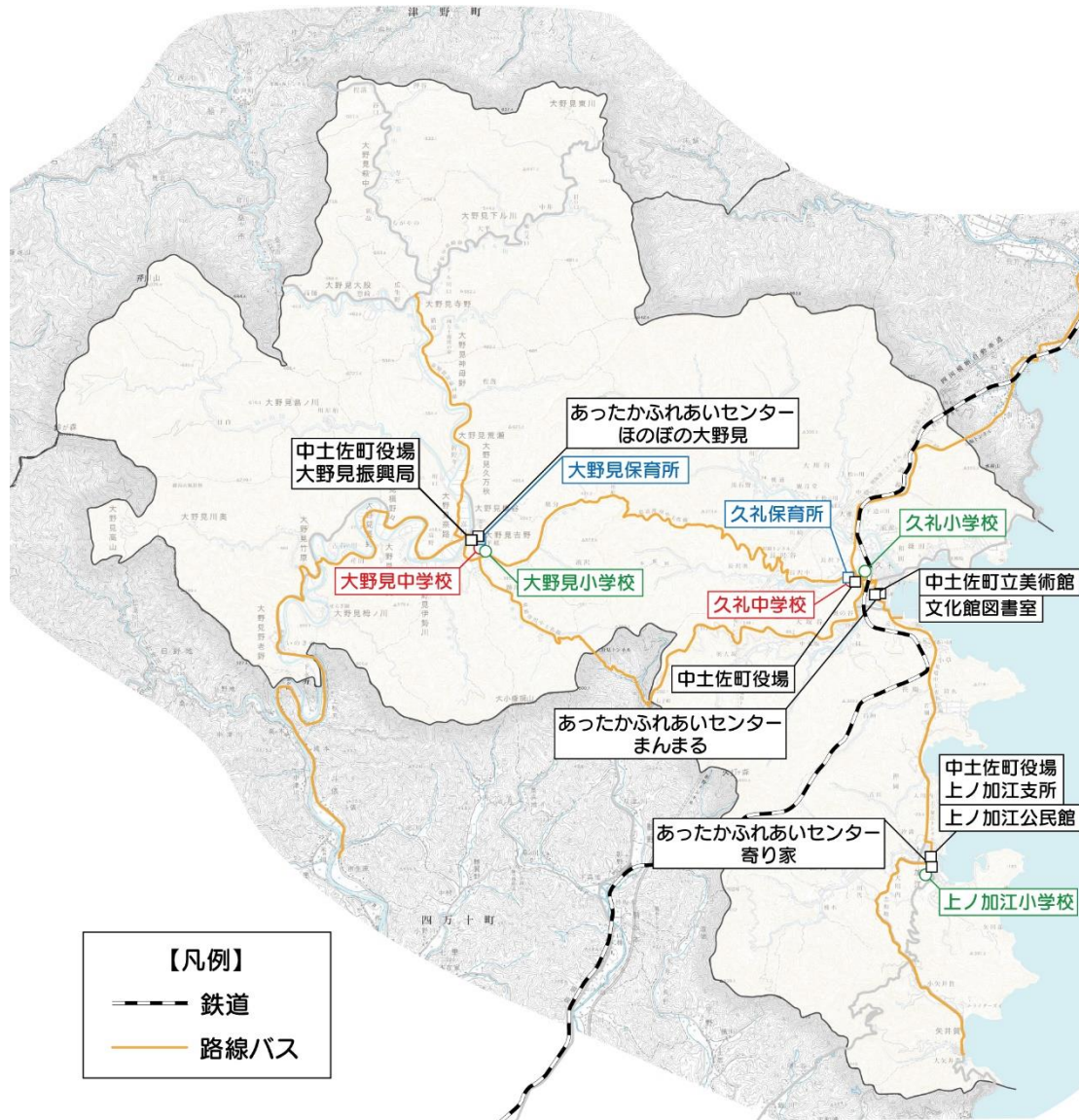
出典：2020（令和2）年国勢調査結果



## 2-1-4. 主要集客施設

### (1) 公共施設

図：公共施設・学校施設・保育所

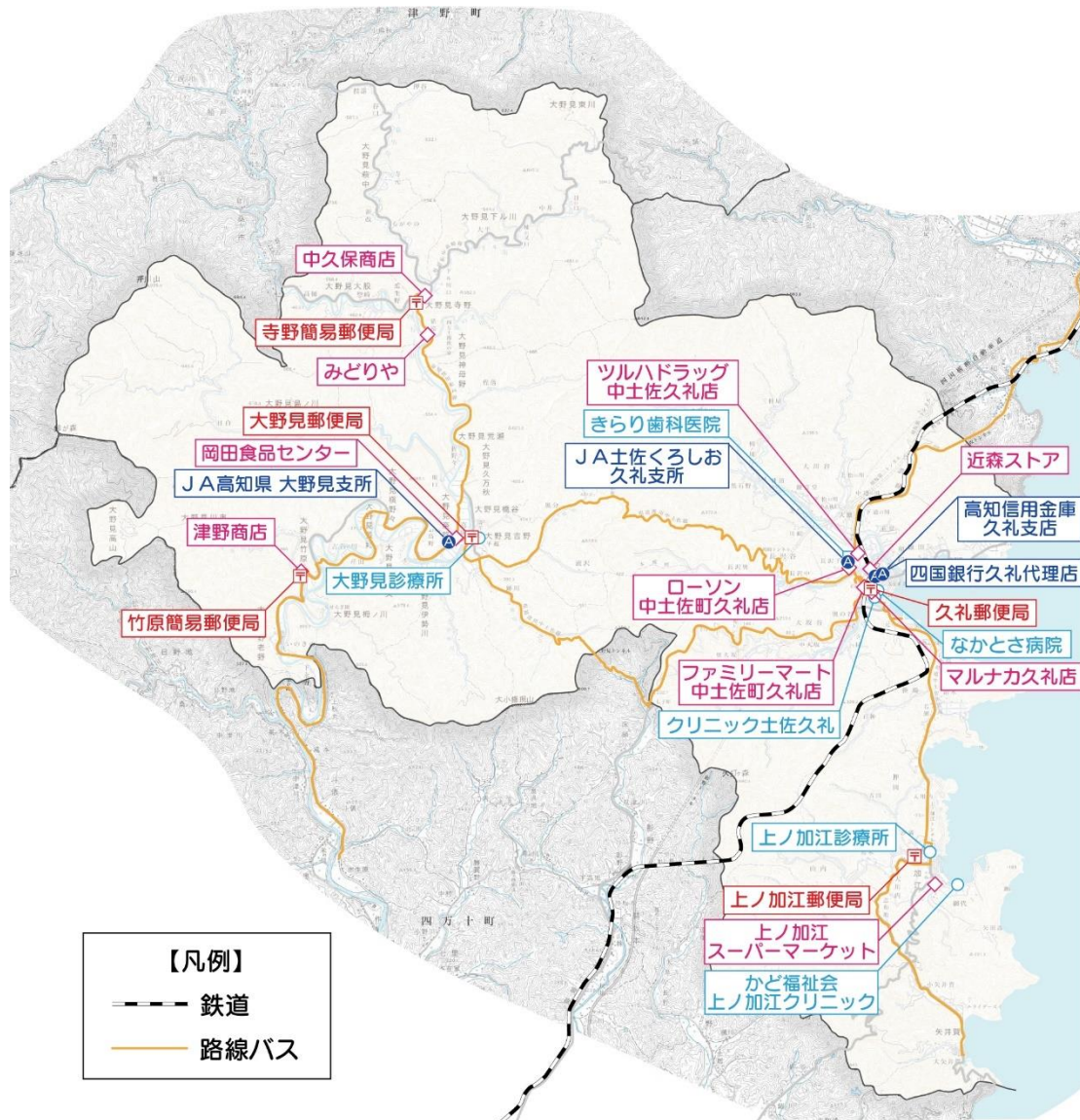


出典：中土佐町



(2) 商業施設・病院施設

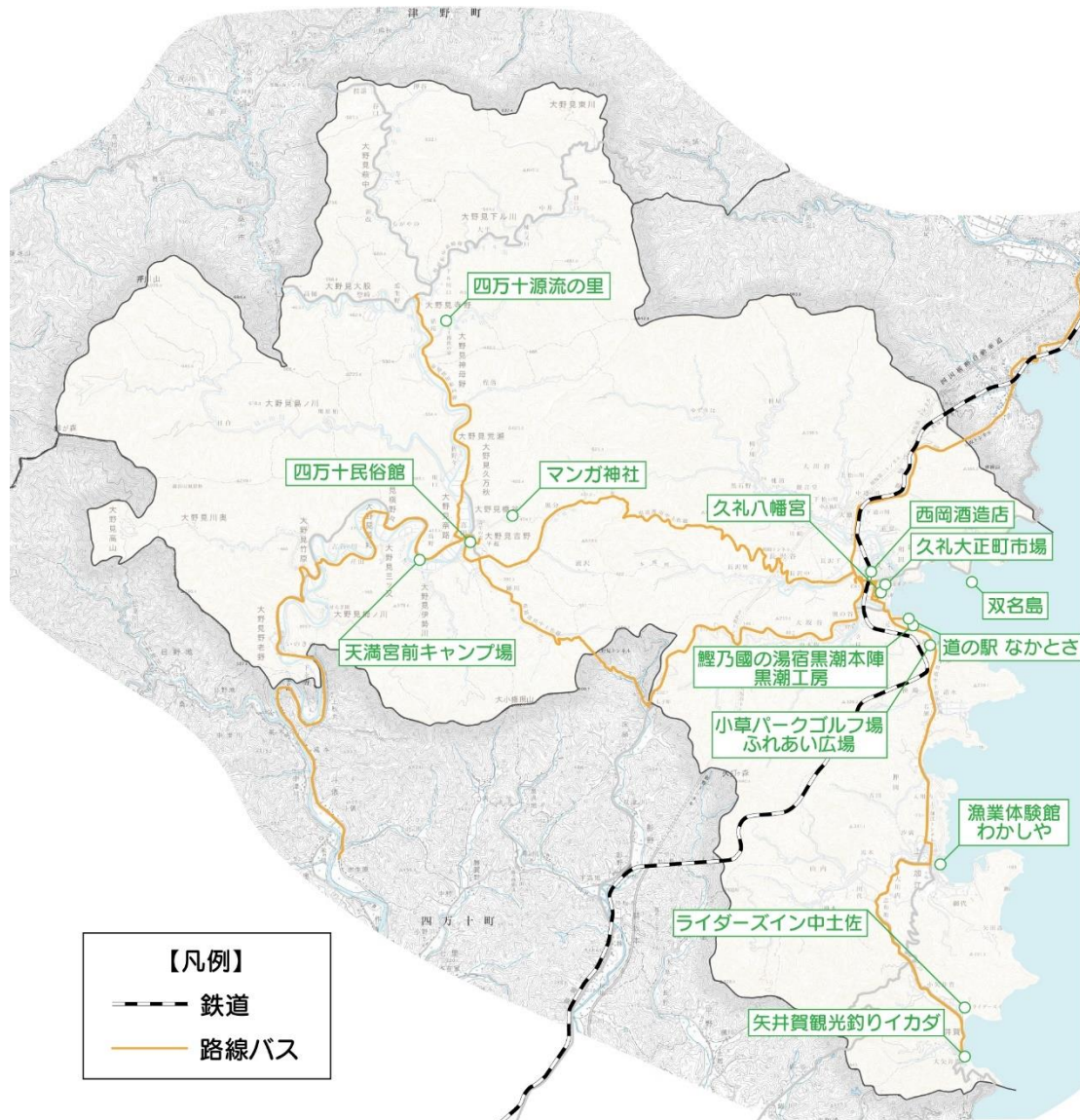
図：商業施設・郵便局・銀行・病院・診療所



出典：タウンページ高知県版より

(3) 観光関連施設

図：観光地・観光施設



出典：中土佐町

## 2-2. 住民及び公共交通利用者へのアンケート

### 2-2-1. 住民アンケート調査

#### (1) 実施概要

##### □ 調査対象者

令和5年7月1日時点で中土佐町に住所を置く全世帯（3,106世帯）の世帯主。

##### □ 調査手法

アンケート対象者に調査票及び調査の趣旨をまとめた依頼文書、返信用封筒を添えて郵送法にて実施。

##### □ 回収数と回収率

地区名	発送数	有効 発送数	回収数	有効 回収数	回収率
久礼地区	1,904	1,887	667	663	35.1%
上ノ加江地区	582	569	234	233	40.9%
矢井賀地区	129	118	37	37	31.4%
大野見地区	491	485	196	196	40.4%
合計	3,106	3,059	1,134	1,129	36.9%

※ 発送数の内、宛名不明等による返却が47票（発送数より除外）

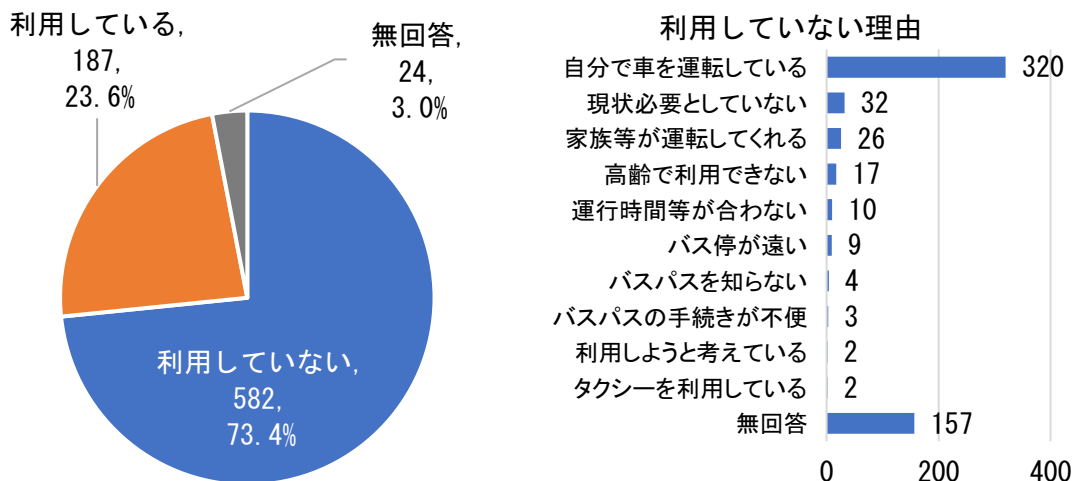
※ 回収数の内、全面未記入が5票（回収数より除外）

※ 回収率：有効回収数/有効発送数

#### (2) 調査結果（抜粋）

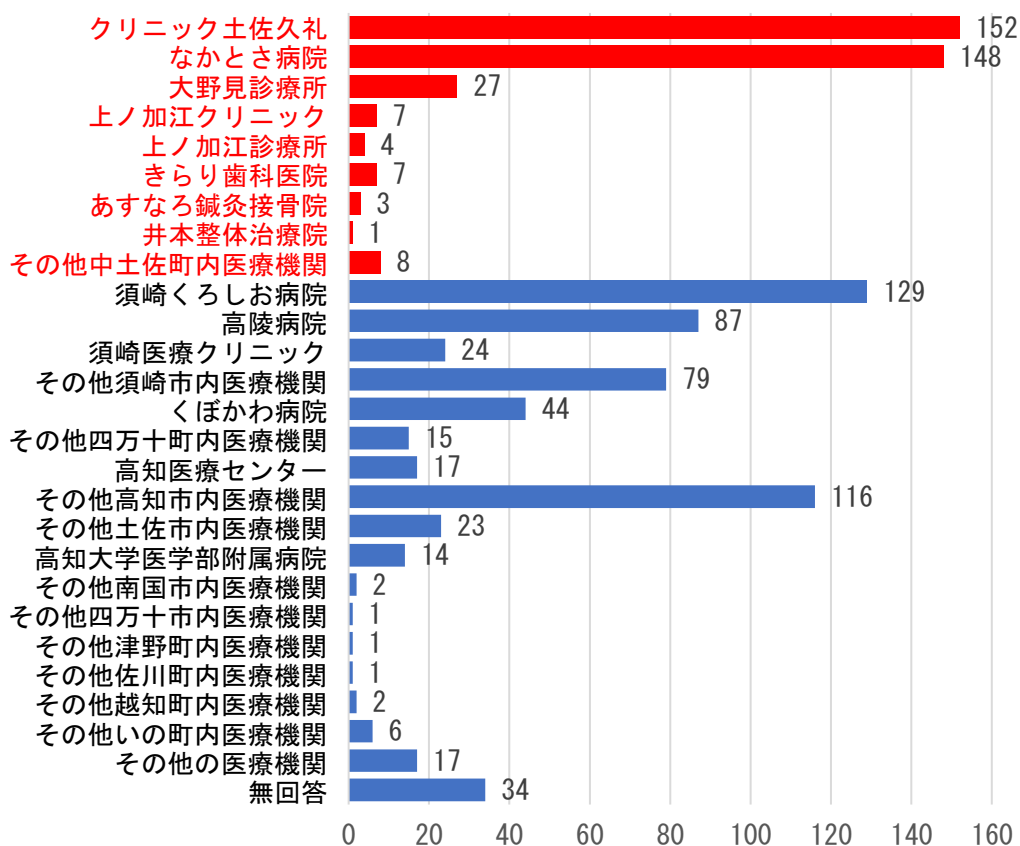
##### ① 中土佐町高齢等外出支援・路線バス無料化事業（通称：バスパス）の

利用について [65歳以上] (N=793)

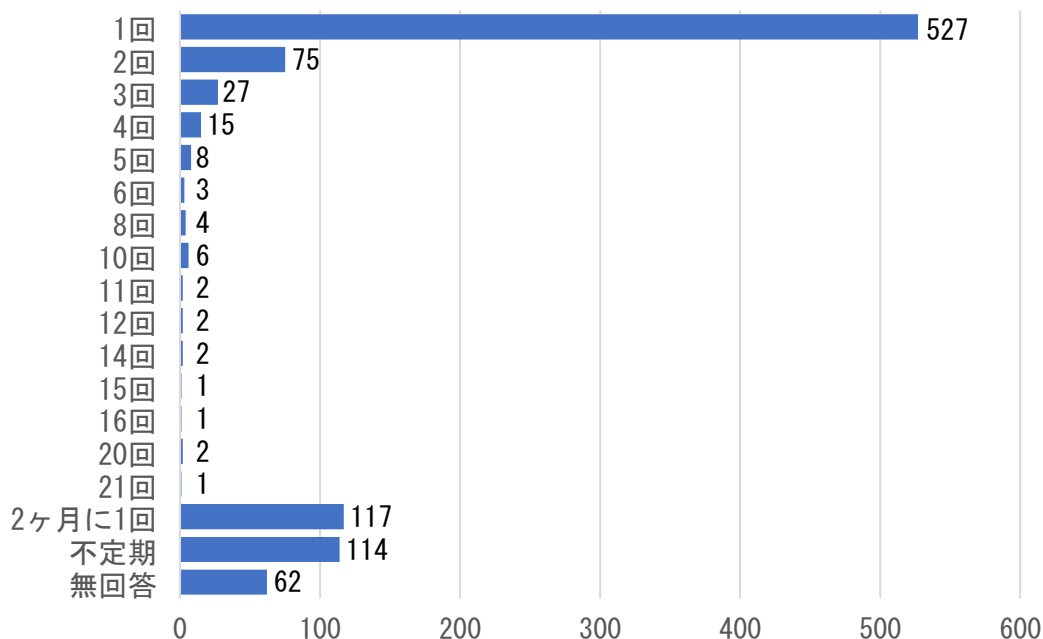


② 日常的な移動について：通院について

図：よく行く病院施設 (N=969)



図：1ヶ月間の通院回数 (N=969)





図：独自の移動手段を持つ人の通院にかかる時間（N=686）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

通院	帰着	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	21時	不定期	無回答
出発	人	1	14	79	125	108	48	39	37	37	31	13	2	1	19	132
5時	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6時	4	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
7時	38	0	0	6	7	7	3	6	8	0	0	0	0	0	1	0
8時	133	1	8	24	30	29	16	6	7	4	4	3	0	1	0	0
9時	184	0	6	42	54	41	17	12	6	2	2	1	0	0	1	0
10時	79	0	0	7	32	15	10	5	2	5	3	0	0	0	0	0
11時	22	0	0	0	1	15	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0
12時	9	0	0	0	0	0	0	1	3	1	4	0	0	0	0	0
13時	19	0	0	0	0	0	0	5	4	5	4	1	0	0	0	0
14時	27	0	0	0	0	0	0	0	7	11	6	2	1	0	0	0
15時	13	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	3	0	0	0	0
16時	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0
17時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
不定期	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0
無回答	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132

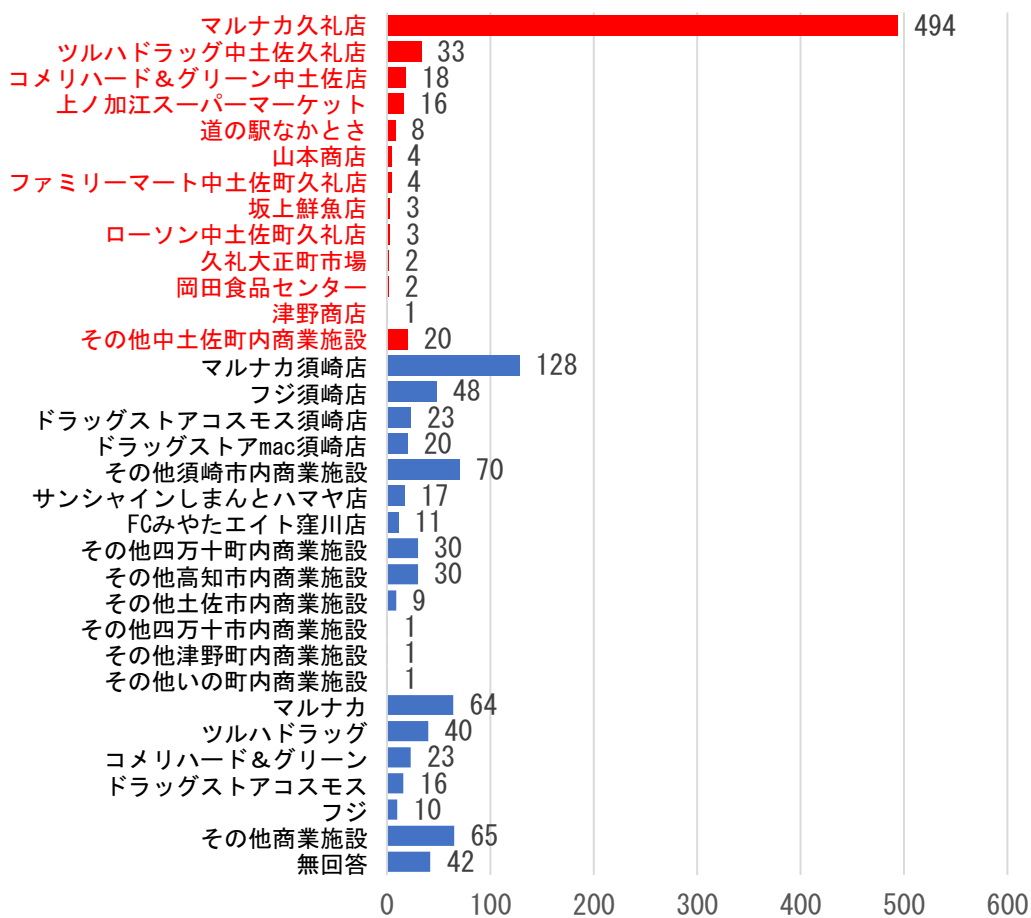
図：独自の移動手段を持たない人の通院にかかる時間（N=283）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

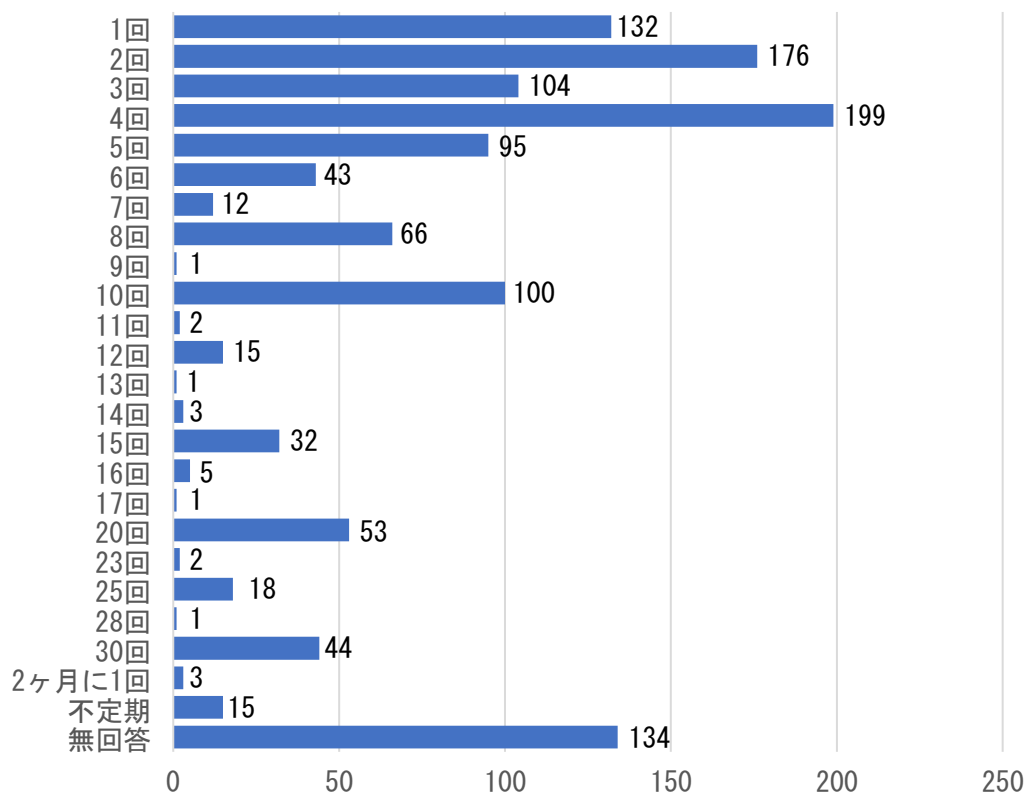
通院	帰着	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	21時	不定期	無回答
出発	人		2	15	50	37	29	34	13	10	12	1	1		15	64
5時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6時	7	0	0	0	0	2	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0
7時	8	0	0	1	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	75	0	2	7	17	10	10	20	4	1	2	0	0	0	2	0
9時	77	0	0	6	26	12	12	8	4	3	2	0	0	0	4	0
10時	23	0	0	1	6	9	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0
11時	4	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12時	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0
13時	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
14時	7	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	0	0	0
15時	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
16時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不定期	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0
無回答	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64

### ③ 日常的な移動について：買い物について

図：よく行く商業施設 (N=969)



図：1ヶ月間の買い物回数 (N=969)





図：独自の移動手段を持つ人の買い物にかかる時間（N=997）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

買い物	帰着	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	午後	不定期	無回答
出発	人	5	8	49	120	101	33	44	65	53	72	75	21	9	5	10	76	251
6時	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
7時	4	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	18	3	1	3	2	4	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0
9時	112	0	7	25	33	21	9	3	4	2	5	1	0	0	0	0	2	0
10時	195	0	0	21	75	50	13	9	7	3	5	9	1	2	0	0	0	0
11時	43	0	0	0	9	20	6	2	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0
12時	14	0	0	0	0	6	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
13時	54	0	0	0	0	0	3	22	16	8	3	1	0	0	1	0	0	0
14時	40	0	0	0	0	0	0	5	23	8	0	4	0	0	0	0	0	0
15時	47	0	0	0	0	0	0	0	10	20	14	3	0	0	0	0	0	0
16時	40	0	0	0	0	0	0	0	0	9	25	3	1	0	2	0	0	0
17時	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	30	3	0	0	0	1	0
18時	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	11	1	0	0	0	0
19時	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0
20時	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
午後	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	10	0	0
不定期	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	70	0
無回答	251	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	251

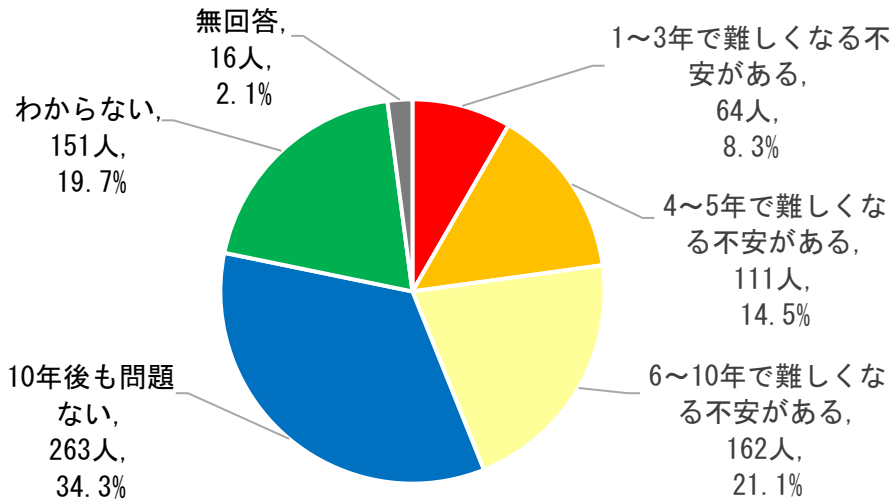
図：独自の移動手段を持たない人の買い物にかかる時間（N=260）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

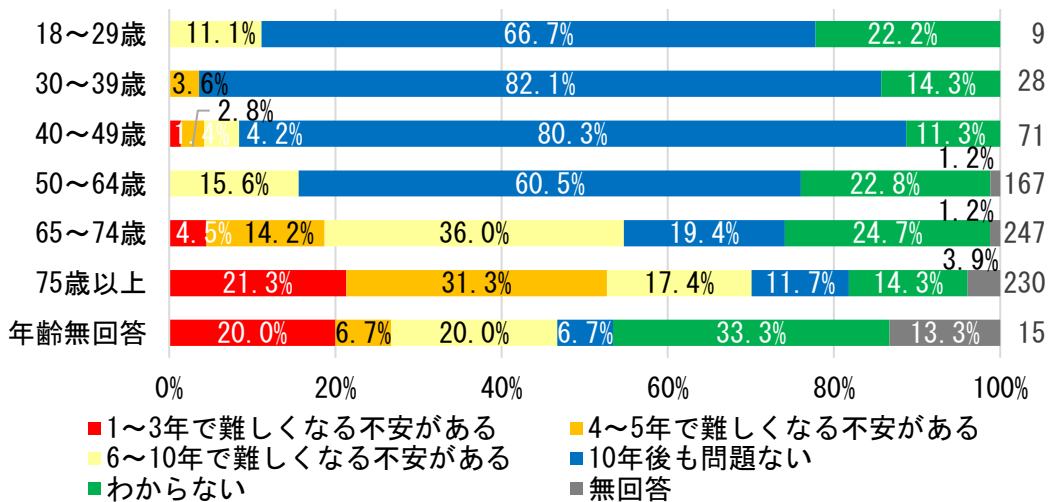
買い物	帰着	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	午後	不定期	無回答
出発	人		1	11	43	30	14	31	17	13	8	2	3	2		2	20	63
6時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	37	0	0	4	11	5	1	8	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0
9時	44	0	1	4	17	8	1	8	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0
10時	37	0	0	3	15	10	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
11時	27	0	0	0	0	7	8	7	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
12時	6	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
13時	6	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14時	9	0	0	0	0	0	0	0	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0
15時	5	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
16時	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
17時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
18時	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
19時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
午後	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
不定期	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	14	0
無回答	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63

#### ④ 自動車利用の近い将来に対する不安

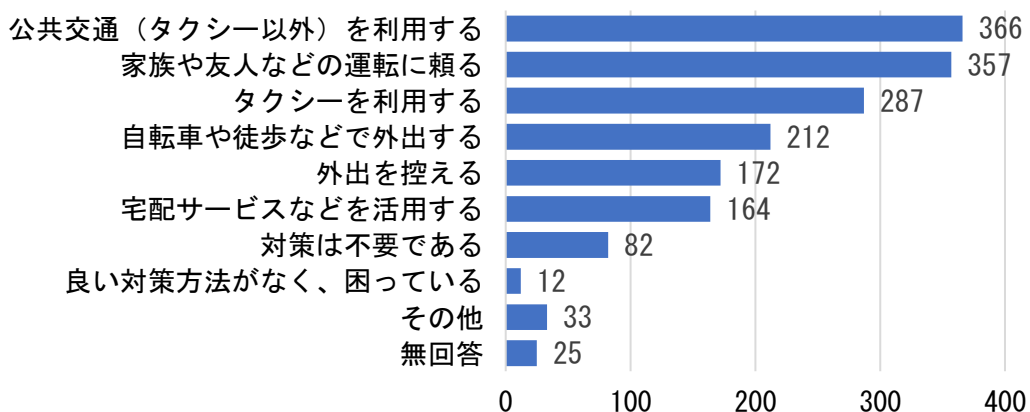
図：自動車利用の将来について (N=767)



図：自動車利用の将来について、年齢別にクロス集計 (N=767)

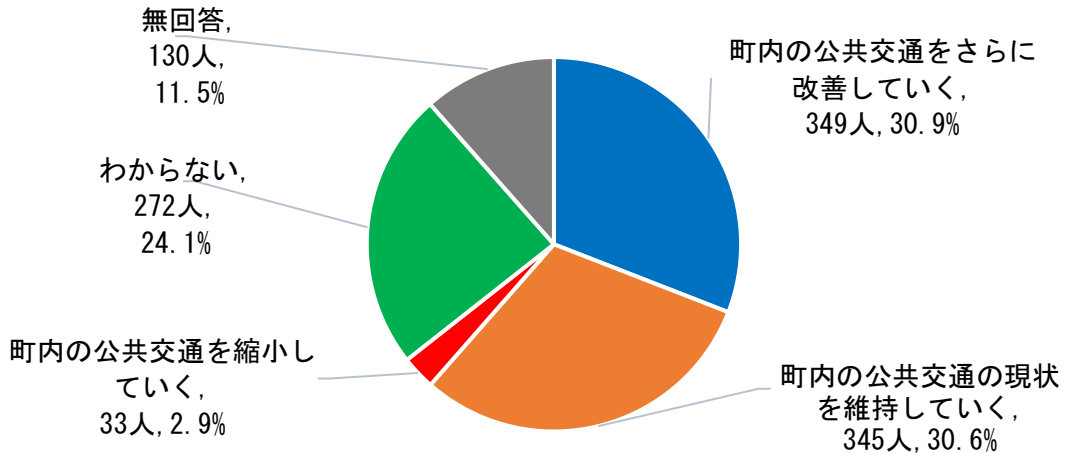


図：自動車利用の不安に対する対策 (N=1,710)

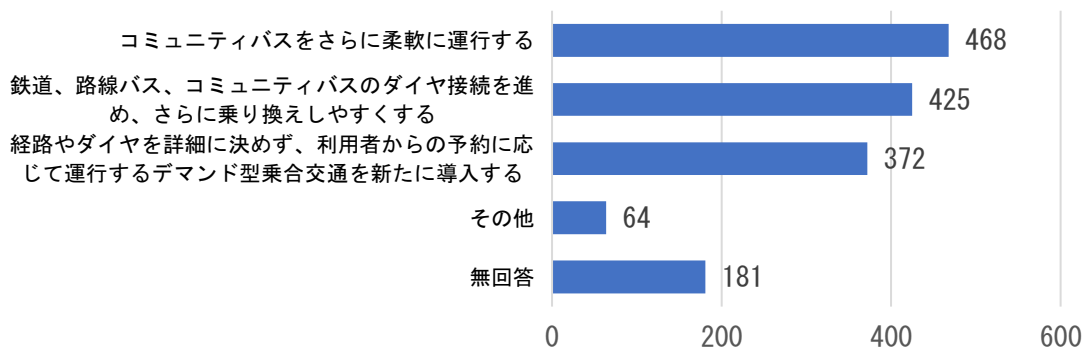


⑤ 今後の中土佐町の公共交通の在るべき姿について

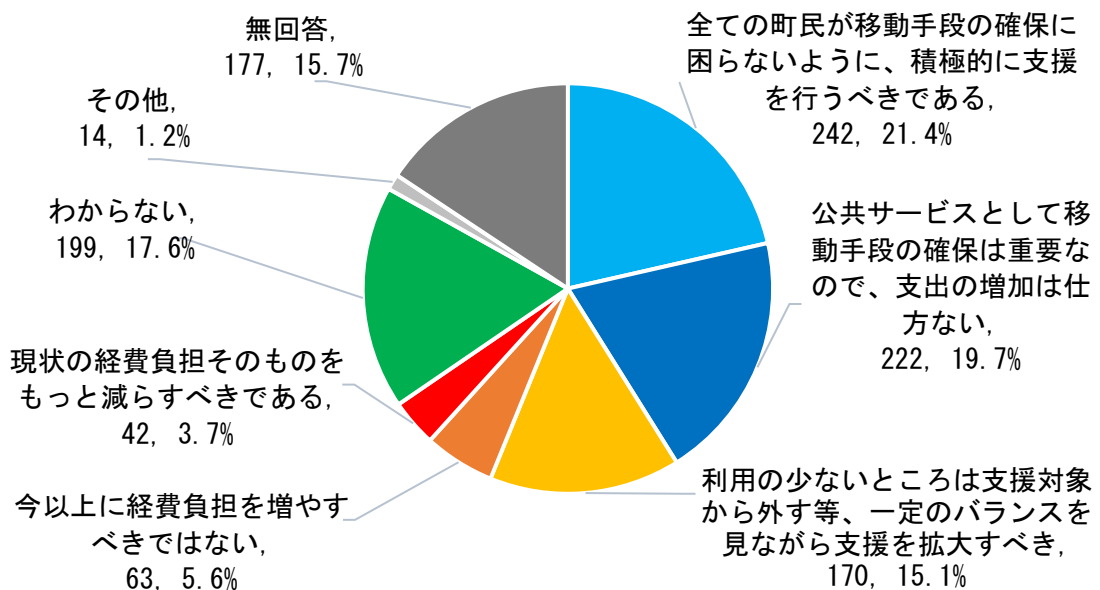
図：今後の中土佐町の公共交通について (N=1,129)



図：乗合輸送の利便性を高める方策について {2つまで回答可 (N=1,510)}



図：行政が負担する経費の増加について (N=1,129)



## 2-2-2. バス利用者への意向（アンケート）調査

### (1) 実施概要

#### □ 調査対象者

対象期間内にバス（高知高陵交通、四万十交通、コミュニティバス）を利用した全ての利用者を対象として配布。

#### □ 調査手法

依頼文書とアンケート調査票を返信用封筒（料金別納郵便）に同封し、調査期間中にバスに乗車した全ての利用者に乗務員を通じて配布。既に配布した利用者には重複して回答を依頼しない。

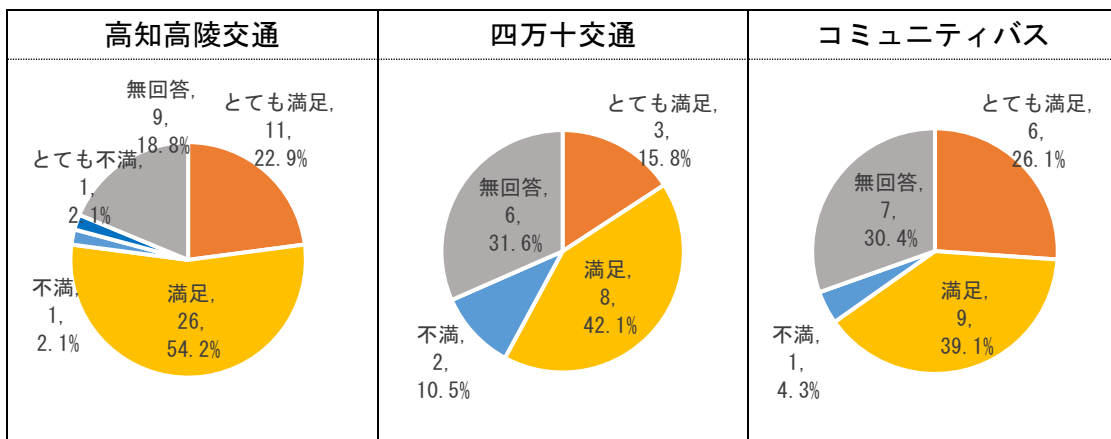
回答者は調査票への記入後に、返信用封筒に入れてそのまま郵送。

#### □ 回収数

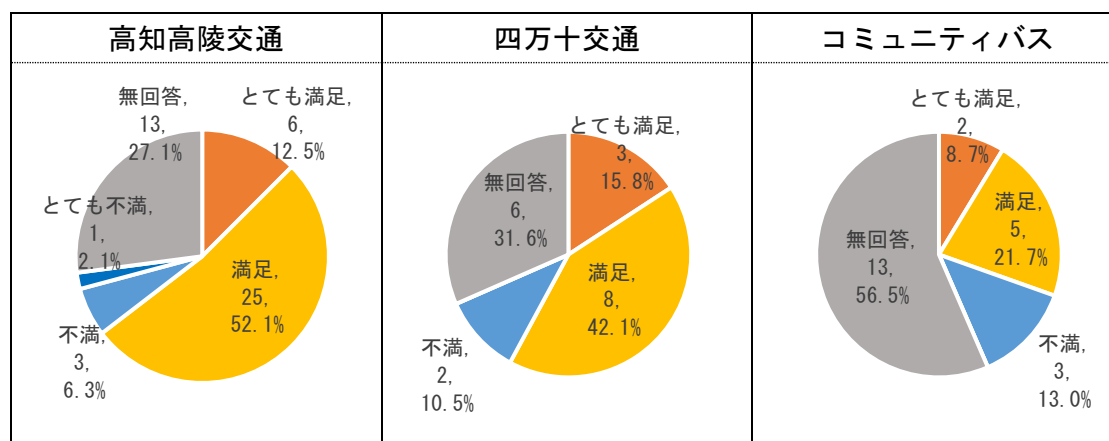
運行事業者名	回収数	備考
高知高陵交通	48	
四万十交通	19	
中土佐ハイヤー	23	コミュニティバス利用者のみ

### (2) 調査結果（抜粋）

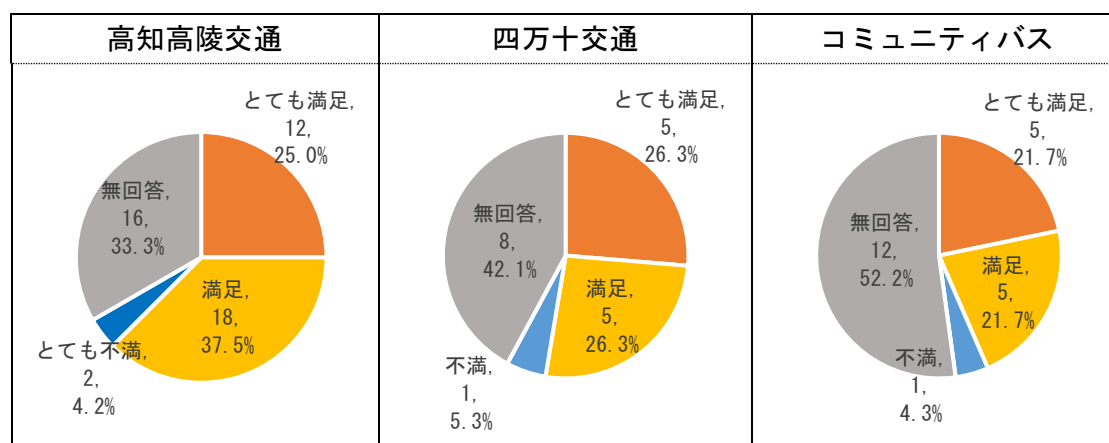
#### ① 路線の運行経路に対する満足度



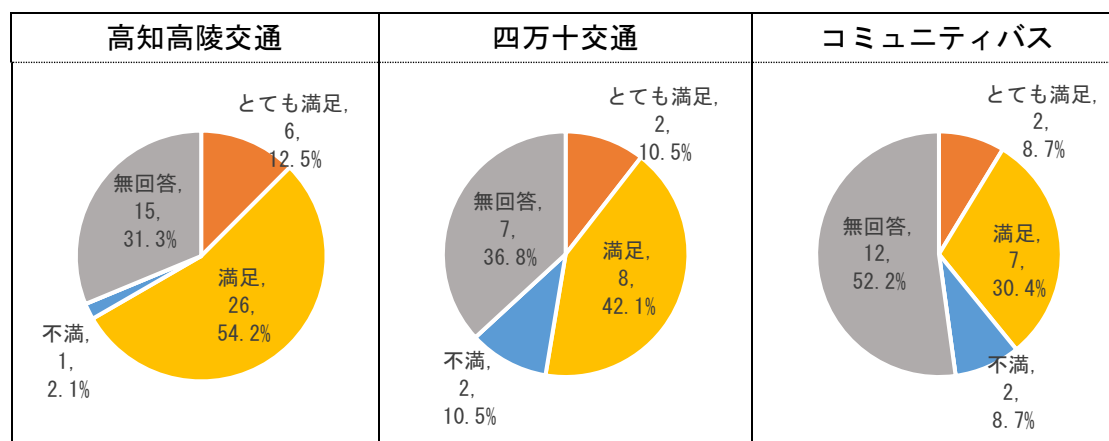
② 路線の運行ダイヤや乗り継ぎの利便性に対する満足度



③ 運賃に対する満足度



④ 路線と運行ダイヤのわかりやすさに対する満足度



## 2-3. 住民及び関係者の意向

### 2-3-1. 地区別意見交換の実施

#### (1) 実施概要

##### □ 意見交換を実施した地区

	地区	参加者数	備考
久礼地区	久礼浦分地区	12人	
	大野地区	2人	
	鎌田地区	3人	個別訪問として聞き取り
上ノ加江地区	上ノ加江地区	8人	
	山内地区	4人	
大野見地区	大野見地区	10人	
	寺野地区	7人	

#### (2) 得られた意見

##### □ 久礼地区

久礼浦分地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスでおでかけしても帰り便と時間が合わない場合、時間をつぶすことがなく、結局車で出かけてしまう。</li> <li>もう少しバスの運行便数が増えてほしい。</li> <li>バスに乗ったことがないため、バスパスの制度も知らなかった。</li> <li>バスパスの機能がマイナンバーカードに追加されても、なかなか使用しづらいのではないかと。無くしたら大変である。</li> <li>バスに乗り慣れた人と一緒に、バスでおでかけしてみようと思う。</li> </ul>
大野地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスはバス停まで歩かなければいけないし、降車してから目的地まで歩かなければいけない。結局タクシーを利用してしまう。</li> <li>マイナンバーカードでバスパスが使えるようになっても、マイナンバーカードの利用そのものに抵抗がある。</li> </ul>
鎌田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスで久礼に行くのはいいが、帰るのに2時間程度待たなければいけない。どうにかならないか。</li> <li>これから先、乗り方もわかったので近所の方を誘って利用する。</li> <li>現在は車に乗るが、そろそろ怖いので練習で利用してみる。</li> </ul>

##### □ 上ノ加江地区

上ノ加江地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知高陵交通のバスを利用し、須崎くろしお病院に行っているが1便目の通過時間が早いとため病院が始まるまで1時間程待たなければいけない。2便目では遅い。</li> <li>バスの乗降箇所が高いため乗りづらい。バスを低床仕様にしてほしい。</li> <li>本町の65歳以上のバスパス制度や、80歳以上のタクシーチケットには本当にありがたいと感じている。現状で満足しており、自分たちがバスの時刻に合わせて行動すれば問題ない。</li> </ul>
--------	---



<p><b>山内地区</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の2月に運転免許証を自主返納し、コミュニティバスと路線バスを利用している。バスを利用し始める時には不安であったが、一度乗ってみると簡単で不安もなくなった。以降、運行日は毎日利用している。</li> <li>・コミュニティバスの運転手の運転がとても優しく、安全運転なので安心して利用できる。</li> <li>・南新町など久礼地区で60分～120分の滞在時間が必要。買い物はゆっくり60分あればいい。帰り便は60分くらいであれば待つことができる。</li> <li>・高知高陵交通の須崎くろしお病院からの帰り便を待ちやすいように、西崎町バス停にベンチを設置してほしい。</li> <li>・バス時刻表の見方が分からなかった。本日、時刻表の見方を直接教えてもらって分かりやすいと思った。午後の便で久礼におでかけできることも分かった。</li> <li>・今は車を利用できるが、将来に向けてバスに乗ってみようと思った。コミュニティバスの運行が無くなったら大変である。</li> </ul>
--------------------	---

□ 大野見地区

<p><b>大野見地区</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は車を運転できなくなる日がそう遠くないと考え、バスに乗って外出する練習をしている。</li> <li>・現在、久礼のマルナカの前で乗降できるようにバスの運行経路が変わっていることを知らなかった。</li> <li>・コミュニティバスは、土佐久礼駅にて高知行き列車に、もう少し余裕を持って接続して欲しい。</li> <li>・隣人などの車に乗れない人から、「乗せて欲しい」と言われることがあるが、事故などになったときのことを考えると困る。</li> <li>・時刻表を一緒に見ながら教えてもらえるとよく分かる。</li> </ul>
<p><b>寺野地区</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知方面に行くJRの普通列車が激減して使いづらくなった。</li> <li>・いの町の病院に行くために、午前6時30分のバスをまだ暗い冬に待つのはつらい。</li> <li>・午前中のバスで出かけると、久礼のマルナカで買い物できる時間が30分程度しかない。これでは満足な買い物はできない。また、午後に久礼方面に出かけられるダイヤ設定となっていない。出かけても帰って来られない。午前11時台に大野見北地区から久礼地区に行けるダイヤを強く要望したい。</li> <li>・高知高陵交通の路線バスは遅れる時があり、鉄道に乗り継げない時がある。運行ダイヤがあるのにこの状況は受け容れがたい。</li> <li>・中土佐町役場が乗り換え場所に設定されているが、休日は開いていないため、トイレも使えず、座るベンチもない。バス停に座って待てるようにベンチを置いて欲しい。また、休日にも役場に入り、トイレを使えるようにしてほしい。</li> <li>・マイナンバーカードによるバスパスの実証運用が10月から始まるが、高齢者にマイナンバーカードを持ち歩かせるのはどうかと考える。紛失するのではないかと不安がある。</li> <li>・本町の65歳以上のバスパス制度や、80歳以上のタクシーチケット制度には本当にありがたいと感じている。</li> </ul>

## 2-3-2. 関係者ヒアリング

### (1) ヒアリングのねらい

交通事業者（鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー）や医療機関、商業施設など、地域の移動手段と移動の目的をとりまく関係者へのヒアリングを実施し、住民の移動や消費等に関する変遷やニーズの変化、訪問の手段等を把握する。

### (2) ヒアリングの結果

高知高陵交通（バス事業者）
---------------

#### □ バス事業について

- ・矢井賀線運行車両：3台の車両を活用しており、内1台は予備車としている。
- ・乗務員数（会社全体）：16人（本社：9人、梶原：6人）。本社では貸切運行は無し。

#### □ 路線バス矢井賀線の利用状況について

- ・バスパスのおかげでコロナ禍において、他の地域の路線バスに比べて落ち込みが小さく済んでいる。矢井賀線の利用者数は大きく落ち込んでいない。
- ・道の駅なかとさへの利用者が増加傾向にある。特に久礼地区からの利用が増えている。

#### □ 今後の乗務員確保について

- ・現状では働き方改革（いわゆる2024年問題）への対応も含めて、乗務員数は充足している。しかし近い将来どうなるかは不明である。特に梶原営業所に所属する貸切バス乗務員は高齢化が進んでいる。定期的に若い乗務員の確保が必要であるが、難しい状況にある。
- ・会社の基本給が低く、乗務員を集めることが難しい状況にある。高知高陵交通の40代前半乗務員（男性）の年収は、40代前半男性の全国平均（国税庁2021年調査）の約55%に留まっている。改善したいがそのためには沿線自治体の理解も必要になってくる。

#### □ 中土佐町内の路線バスの今後について

- ・須崎－梶原線と須崎－高岡西芝線を令和6年10月に統合させる予定である。同時に矢井賀線のダイヤ改正も行えれば良いが、会社のマンパワーが不足し同時に対応することは難しい。
- ・矢井賀線の始発のために須崎本社車庫を午前5時39分に出発している。この始発便に利用者はいるものの、学校への登校時間に合わせるなどもう少し遅くすることを検討したい。梶原－須崎－高岡の路線統合後に矢井賀線のダイヤ調整に取り組みたい。
- ・矢井賀線の運行経路について、須崎本社営業所に2回入っている須崎市中心部をサンプルに再編したいと考えている。（例）矢井賀－久礼－多ノ郷－須崎駅－営業所。

## 四万十交通（バス事業者）

### □ バス事業について

- ・車両数（会社全体）：路線バス 22 台（窪川 14 台、大正 8 台）  
貸切バス 11 台（窪川 9 台、大正 2 台）
- ・乗務員数（会社全体）：32 人（窪川 23 人、大正 9 人）。路線バスと貸切バスは乗務員が交替で対応している。

### □ 路線バスの利用状況について

- ・働き方改革（いわゆる 2024 年問題）への対応は可能と考えている。
- ・路線バスのみでは経営が難しく、貸切運行からの利益確保がないと乗務員への給与が少なくなってしまう。実際、貸切バスによく乗務する者と路線バスだけに乗務する者では収入に大きな差が出てくる。

### □ 今後の乗務員確保について

- ・現在は充足しているが、3 年後には不足に転じることが確実である。
- ・女性にもドライバーをやってもらっているが、更衣室やトイレ、休憩室などが男性仕様のみであり、福利厚生が困難な状況である。なんとかしてあげたい。
- ・乗務員や運行管理者の負担軽減策として、遠隔点呼の導入を前向きに検討している。本社と大正営業所、十川車庫、大野見車庫をつなぎたいと考えている。
- ・乗務員の待遇改善として、収入だけでなく休みの確保（ゴールデンウィークなどに家族と過ごせるように）も考える必要がある。
- ・四万十交通の 50 歳乗務員の年収は、全国平均（令和 3 年分民間給与実態統計調査：国税庁）の約 60%となっている。なかなか若い人には入ってきてもらえない。

### □ 中土佐町内の路線バスの今後について

- ・夏枯峠経由は全て七子峠経由に変えていいと考える。奥分地区については、奥分－大野見－七子峠－久礼という運行に変えることで利便性は大きく損なわれず快適性が向上する。
- ・令和 7 年 10 月を目指して町内の路線バスのダイヤ接続を見直すことは可能と考える。
- ・乗務員が利用者の声をよく聞いており、利用者のことをよく知っている。このような利用者からの意見を会社として共有する仕組みを構築すべきと考える。
- ・中土佐町で県がすすめているマイナンバーカードの交通 IC カードについて、乗務員のミスでシステムやカードに不具合が生じないか不安がある。また、利用者がマイナンバーカードを紛失してしまうのではないかという心配もある。

## 中土佐ハイヤー（タクシー事業者・コミュニティバス事業者）

### □ タクシー事業について

- ・営業時間：午前8時～午後10時45分
- ・車両数と乗務員数：普通車が3台、ジャンボタクシー（9人乗り）が1台  
4人の乗務員が交替で常時2人体制（繁忙期には3人）
- ・経営状況：午前中には利用されているが、午後には動かなくなる。  
特に夜の稼働は大幅に減っている。経営的には最悪の状況である。

### □ コミュニティバスの利用状況について

- ・長沢地区での利用がほぼ無くなっており、現在でも利用してくれているのは国道近くに暮らす人となっている。
- ・大野見地区では引き続き安定した利用がされている。マイナンバーカードを活用したICカード利用者も多い。乗務員が他のバス会社路線も乗り継いで須崎まで行けることなどを具体的に教えることで利用につながった例もある。
- ・再編以降利用がなかった鎌田地区の奥での利用が見られるようになってきた。
- ・大坂地区では、コミュニティバスを利用してくれていた人が身体を壊して久礼地区中心部に引っ越した例もあり、人口そのものが減少している。

### □ コミュニティバスの今後について

- ・これまで路線再編に取り組んできたことから、現状のコミュニティバスで対応すべき範囲には一部の地域ニーズの変化を除き運行ができていていると考える。ただし、再編を行うのであれば、長沢地区への乗り入れを中断し、大新改から久礼地区中心部に至る運行に切り替えることが考えられる。
- ・さらに利便性を高めるためには、高知高陵交通、四万十交通も含めて大野見から須崎まで利用者が無理することなく繋がるダイヤ編成が必要であると考えられる。

## 上ノ加江スーパー（量販店：上ノ加江地区）

### □ 基本情報

- ・営業時間 平日は午前9時～午後5時50分、土日は午前9時30分～午後5時30分 早く閉めることもある。
- ・休業日 水曜と第一日曜が休業日であるが、地域のイベントに合わせて不定休
- ・スタッフは社長を含めて5人で対応している。

### □ 来店者の移動手段

- ・山内方面の人がコミュニティバスに乗って10時過ぎに来店し、11時過ぎの便で帰って行く。午後の便は少ないものの上ノ加江地区の人がコミュニティバスに乗って買い物に来てくれているようである。
- ・以前は山内方面からシニアカーに乗って3～4人の高齢者が買い物に来てくれていたが、今は1人になっている。
- ・ビコットが閉店し、久礼地区の人が車に乗って惣菜などを買い物に来てくれるようになった。

### □ 量販店のサービスについて

- ・魚は一本売りしている。
- ・11時頃までには惣菜が揃うように作業している。コミュニティバスが到着する10時過ぎではまだ惣菜が揃っていない。
- ・商品を減らしてできたスペースに、誰でも座って利用できるスペースを作っている。帰りのバス待ち用に外にもベンチを置いている。

### □ 量販店経営について

- ・人口が減少しており、買い物客も減ってきた。7月以降でこの近隣だけでも3～4人亡くなっている。
- ・人材不足でもあるが、スタッフを増やしたところで経営は成り立たない。今は売り上げを値上げでなんとか維持している状況。
- ・魚と惣菜と野菜でなんとか売り上げにつながっている。日用品は売れない。
- ・いつでも廃業できるように、建物のメンテナンスや車両の更新を行っていない。本音では自由にいつでも気持ちがきれたら廃業にするつもりである。

### □ 行政への要望

- ・ない。補助金をもらって事業を継続することより、自由に仕事し、自由に廃業したいと考えている。

## マルナカ久礼店（量販店：久礼地区）

### □ 基本情報

- ・営業時間 午前9時～午後10時まで
- ・休業日 年中無休
- ・スタッフは社長を含めて5人で対応している。

### □ 来店者の状況

- ・車での来店が多い。午前11時過ぎ頃と午後5時頃に来店者数のピークを迎えている。
- ・お客さんの滞在時間はだいたい15分程度ではないだろうか。
- ・大野見方面からも来てくれている。
- ・お客さんからしょっちゅう「タクシーを呼んで欲しい」と要望される。昼間ならすぐに来てもらえるが、午前中であるとなかなかすぐには来てもらえない。
- ・少ないが店内にベンチを設置しており、そこで帰りのバス便を待っている人がいる。

### □ 行政との連携について

- ・店舗前の南新町にも大野見からの路線バスが乗り入れ、久礼地区中心部を回っていることを知らなかった。大野見方面からの来店者が喜んでいるのではないだろうか。バスの運行情報など、A3サイズ2枚程度であれば、掲示物として店舗で紹介することが可能である。
- ・南新町バス停でバスを待つために店舗内のベンチで座って待つのはかまわない。違う場所に新たにベンチを設置することになると、本部との調整が必要になってくる。

## なかとさ病院（医療施設：久礼地区）

### □ 基本情報

- ・診療科目 内科、消化器内科、人工透析内科、脳神経外科
- ・外来受付時間 月曜～金曜 午前8時30分～午後0時、午後0時～午後5時  
土曜 午前8時30分～午前11時30分
- ・休診日 日曜祝日、12月31日～1月3日

### □ 公共交通利用者への情報掲示

- ・待合に病院から利用できるバスやコミュニティバスの時刻表を掲示している。町のホームページからダウンロードして利用している。
- ・路線図も入ったさらに見やすいものを作成してもらえるのであれば、掲示したい。令和6年4月にダイヤ改正が実行される場合、掲示物を作成する。
- ・事前に患者さんより申し出があれば、帰りのバス便に間に合うように可能な範囲で優先的な扱いをしている。状況によりできない場合はある。

### □ 行政に対する要望

- ・患者さんにとって便利になることであれば協力できる。バスの運行情報の掲示などは可能である。
- ・大野見線が久礼地区内を周回運行していることを知らなかった。このような情報の共有もできるようにしてもらいたい。



## 大野見診療所（医療施設：大野見地区）

### □ 基本情報

- ・診療科目 内科、消化器内科
- ・外来受付時間 月曜火曜木曜 午前9時～午後0時、午後1時～午後4時30分  
金曜土曜 午前9時～午後0時
- ・休診日 水曜日曜祝日、12月30日～1月1日、1月3日

### □ 来院者の公共交通での移動について

- ・コミュニティバスで来院してきている人はいるが、コミュニティバスの運行曜日と本人の診察希望日が合わず、来られないという人がいる。また、新型コロナのワクチン接種の予約が午後になったものの、午前中からコミュニティバスで来て、会場で待っていたという例もある。ここまで人口が減ってしまったら、全ての移動が希望どおりになることは難しいと感じる。
- ・いつも決まった人がコミュニティバスを使って来院している。使い慣れた人はさらに乗り継いで久礼や須崎にも出かけている。一方で、コミュニティバスを意識しているものの利用するまで至っていない人もたくさんいる。その差が大きいと感じている。
- ・コミュニティバスでの帰り便で、みどりやに寄って買い物をしたい人がいるようである。

### □ 公共交通利用者への情報掲示

- ・路線図も入ったさらに見やすいものを作成してもらえるのであれば、掲示したい。
- ※ 令和6年4月にダイヤ改正が実行される場合、掲示物を町で作成し、診療所に提供する。

### □ 行政に対する要望

- ・町内の公共交通時刻表冊子があることを知らなかった。こういうものを共有してもらえると、患者さんからの問い合わせにも対応しやすくなる。
- ・バス乗り方教室は効果があると思う。その際には、時刻表の見方も説明してあげてほしい。

## クリニック土佐久礼（医療施設：久礼地区）

### □ 基本情報

- ・診療科目 内科、消化器内科
- ・外来受付時間 月曜火曜水曜金曜 午前9時～午後0時、午後1時30分～午後5時  
土曜 午前9時～午後0時
- ・休診日 木曜日曜祝日、12月30日～1月1日、1月3日

### □ 来院者の公共交通での移動について

- ・来院にタクシーやバスを使っている人はいる。特に上ノ加江、矢井賀、大野見など離れた地区に暮らす人で車に乗れなくなった人が公共交通で来院している。
- ・大野地区からの来院者から、大野地区のバスが不便であるという意見を聞いたことがある。
- ・大野見方面からの来院者が増えている。

### □ 公共交通利用者への情報掲示

- ・路線図も入ったさらに見やすいものを作成してもらえるのであれば、掲示したい。A3サイズタテ×2枚までなら掲示可能である。見やすいものにしてあげて欲しい。
- ※ 令和6年4月にダイヤ改正が実行される場合、掲示物を町で作成し、クリニックに提供する。

### □ 行政に対する要望

- ・上ノ加江診療所の移転に伴うバスの新診療所への乗入れを要望している。
- ・クリニック土佐久礼の前にバス停を設置してもらいたい。フリー乗降であってもそのことを知らない人もいる。わざわざ南新町から歩いている来院者もいる。目印にもなるのでバス停を設置してもらいたい。
- ・車イスでの移動がしやすくなるように検討をしてもらいたい。足腰が弱った特に高齢者が外出できるように。

## 道の駅なかとさ マルシェなかとさ（商業・観光施設）

### □ 基本情報

- ・営業時間 午前9時～午後5時（年末年始は短縮営業）
- ・休業日 不定休

### □ 施設の情報

- ・道の駅には他にもテナント店舗があり、営業時間や休業日などが異なる。
- ・ビコットがなくなったためか、久礼の町からお惣菜や野菜、魚を買いに来てくれる人が増えた。
- ・店舗として、お惣菜に力を入れるようにしている。また、新鮮な野菜や魚を買いに来てくれる地元リピーターを獲得するようにしている。地元の買い物客から「こんなに安いとは知らなかった」と言われる。
- ・久礼の人が仕事終わりなど夕方にふらりとやってきて、景色を楽しみながらのんびりと息抜きをしてもらえるような施設にしていきたい。

### □ 来訪者の公共交通での移動について

- ・コミュニティバスが道の駅への運行を取り止めていたことを認識していなかった。コミュニティバスに乗って花を買いに来てくれていた人たちが来なくなったなどは思っていた。
- ・久礼の町からバスに乗ってきてくれる人が増えていると認識している。中土佐町にはバスパスがあることが大きく影響していると考える。

### □ 公共交通利用者への情報掲示

- ・高知高陵交通のバスロケサイネージを設置している。表示に不具合がある場合はすぐに高知高陵交通に連絡している。

### □ 行政に対する要望

- ・大野見の人たちから、道の駅に来たいという要望が寄せられている。高知高陵交通だけでなく四万十交通やコミュニティバスにも施設に乗り入れて欲しい。
- ・バスに乗って、この施設からの風景、施設の雰囲気や買い物を楽しんでもらいたい。車に乗れなくなった人でもバスに乗ってふらりと訪れることができるようにしてもらいたい。

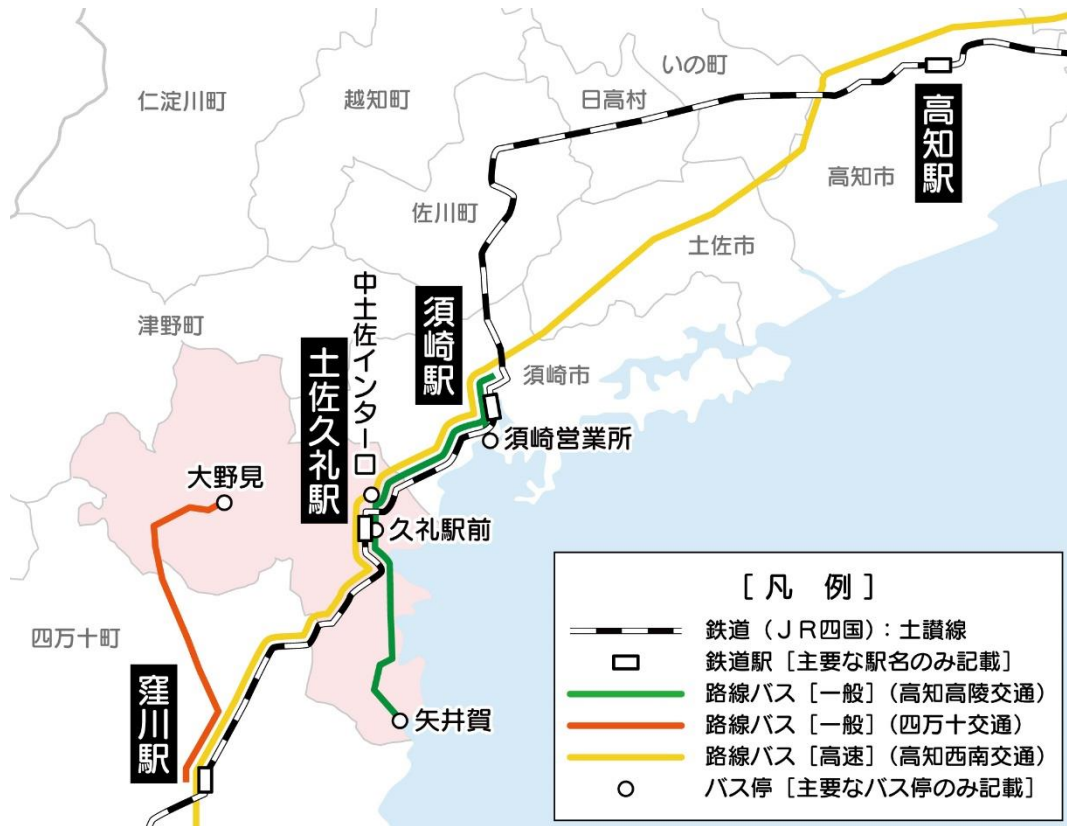
## 2-4. 地域の公共交通

### 2-4-1. 広域公共交通網

本町の広域公共交通網（他の自治体と結ぶ公共交通網）として、鉄道は、高知方面から窪川方面を結ぶJR四国、路線バスの矢井賀から須崎方面を結ぶ高知高陵交通と、大野見から窪川方面を結ぶ四万十交通が運行している。

高速バスは、高知西南交通が中土佐インターチェンジ入口に専用のバス停を設置している。

図：本町から見た広域公共交通網



表：本町の広域公共交通一覧（2023（令和5）年12月現在）

種類	路線等	運行事業者	備考
鉄道	土讃線（窪川-高知）	JR四国	
路線バス [一般]	矢井賀-上ノ加江-久礼-須崎線	高知高陵交通	
	窪川-大野見線	四万十交通	
路線バス [高速]	しまんとブルーライナー (宿毛駅-神戸・大阪・京都)	高知西南交通 他	季節運行
	しまんとエクスプレス (宿毛駅-新宿)		

## 2-4-2. 本町の公共交通網

### (1) 公共交通網

本町内の公共交通として、鉄道（JR 四国）、路線バス（高知高陵交通・四万十交通）、コミュニティバス、そしてタクシー事業者（1社）が事業を行っている。



表：本町の公共交通一覧（2023（令和5）年12月現在）

種類	路線等		運行事業者
鉄道	土讃線（窪川－高知）		J R 四国
路線バス	矢井賀－上ノ加江－久礼－須崎線		高知高陵交通
	土佐久礼駅－大野見線（七子峠・夏枯峠） 窪川－大野見線、大野見－萩中線、大野見－奥分吉野線		四万十交通
コミュニティバス	久礼地区	萩原・大野線、楠ノ川線、 長沢・大坂線	中土佐ハイヤー
	大野見地区	下ル川線、萩中線、高樋線	
	上ノ加江地区	上ノ加江線	
タクシー	中土佐町全域		中土佐ハイヤー

## (2) 鉄道

J R 四国の土讃線が本町を運行しており、特急列車も停車する土佐久礼駅が町内唯一の駅となっている。

図：本町内を運行する土讃線



表：土佐久礼駅の年度別利用者数（人）

2018（平成30）年4月1日～2023（令和5）年3月31日

	2018年度 （平成30）	2019年度 （令和元）	2020年度 （令和2）	2021年度 （令和3）	2022年度 （令和4）
年間乗降客	103,236	102,572	91,652	78,104	75,744
内、普通乗降者数	11,190	10,810	7,464	6,688	6,674
内、定期券による乗降者数	92,046	91,762	84,188	71,416	69,070

出典：J R 四国高知企画部

上り方面である須崎・高知方面に特急列車が9本、普通列車が5本運行されており、下りの中村・宿毛方面では特急列車が9本、窪川までの普通列車が5本運行されている。

表：土佐久礼駅発列車の時刻表（2023（令和5）年3月12日 改正）

窪川・中村・宿毛 行き			須崎・高知 行き		
時	分・行き先		時	分・行き先	
6			6	18 高知	
7	30 窪川		7	<u>04 高知</u>	30 高知 <u>56 高知</u>
8			8		
9	<u>11 中村</u>		9		
10	<u>40 中村</u>		10	<u>20 高知</u>	
11			11		
12	<u>32 中村</u>		12	<u>12 高知</u>	
13	31 窪川		13	31 高知	
14	<u>38 中村</u>		14	<u>17 高知</u>	
15			15		
16	<u>35 中村</u>	58 窪川	16	<u>06 高知</u>	58 須崎
17			17	<u>44 高知</u>	
18	<u>04 宿毛</u>		18	<u>40 高知</u>	
19	05 窪川	<u>53 中村</u>	19	05 高知	
20	<u>47 中村</u>		20	<u>47 高知</u>	
21	13 窪川		21		
22	<u>16 中村</u>		22		

赤字下線付きの便は特急列車

表：土佐久礼駅からの主な駅までの大人運賃（2023（令和5）年3月12日 改正）

	宿毛駅	中村駅	窪川駅	土佐久礼駅	須崎駅	高知駅	高松駅	岡山駅
運賃	2,060	1,540	430	—	330	1,240	4,400	4,840
自由席 特急料金	1,080	870	450	—	450	1,200	2,420	2,420

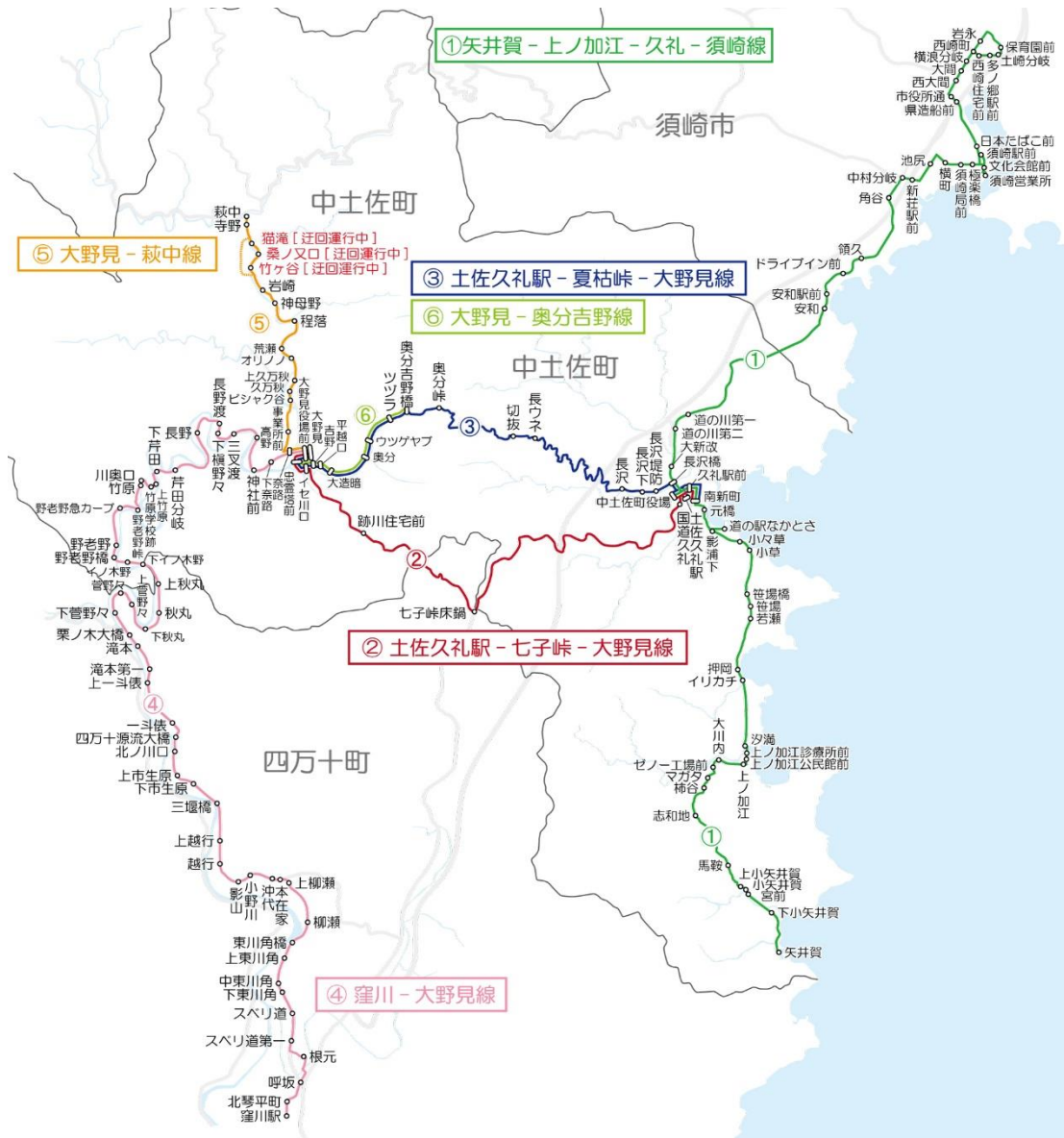
### (3) 路線バス

町内の路線バスとして、高知高陵交通と四万十交通の2社が運行している。

高知高陵交通は、須崎方面と矢井賀間を久礼駅前バス停経由にて運行している。

四万十交通は、土佐久礼駅と大野見間、大野見と窪川間、大野見と萩中間を運行している。

図：本町内を運行するバス路線網





□ 高知高陵交通の運行回数と利用状況（単位：回）

表：高知高陵交通の運行回数（2023（令和5）年9月時点）

	運行回数		備考
	平日・土日祝		
須崎-久礼-矢井賀	1.0		
久礼駅-矢井賀	1.0		
須崎-多ノ郷-矢井賀	4.0		

表：高知高陵交通年度別利用者数（単位：人）

2018（平成30）年10月1日～2023（令和5）年9月30日

	2019年度 （令和元）	2020年度 （令和2）	2021年度 （令和3）	2022年度 （令和4）	2023年度 （令和5）
須崎-久礼-矢井賀	1,451	1,012	1,184	1,309	1,311
久礼駅-矢井賀	751	576	456	569	558
須崎-多ノ郷-矢井賀	33,717	30,201	29,299	29,705	29,920
年度別計	35,919	31,789	30,939	31,583	31,789

□ 四万十交通の運行回数と利用状況（単位：回）

表：四万十交通の運行回数（2023（令和5）年9月時点）

	運行回数		備考
	平日	土日祝	
久礼駅-七子峠-大野見	5.0	5.0	
久礼駅-夏枯峠-大野見	2.0	2.0	
窪川-芹田-大野見	4.0	4.0	
萩中-大野見	1.5	2.5	
大野見-奥分吉野橋	2.0	2.0	

表：四万十交通年度別利用者数（単位：人）

2018（平成30）年10月1日～2023（令和5）年9月30日

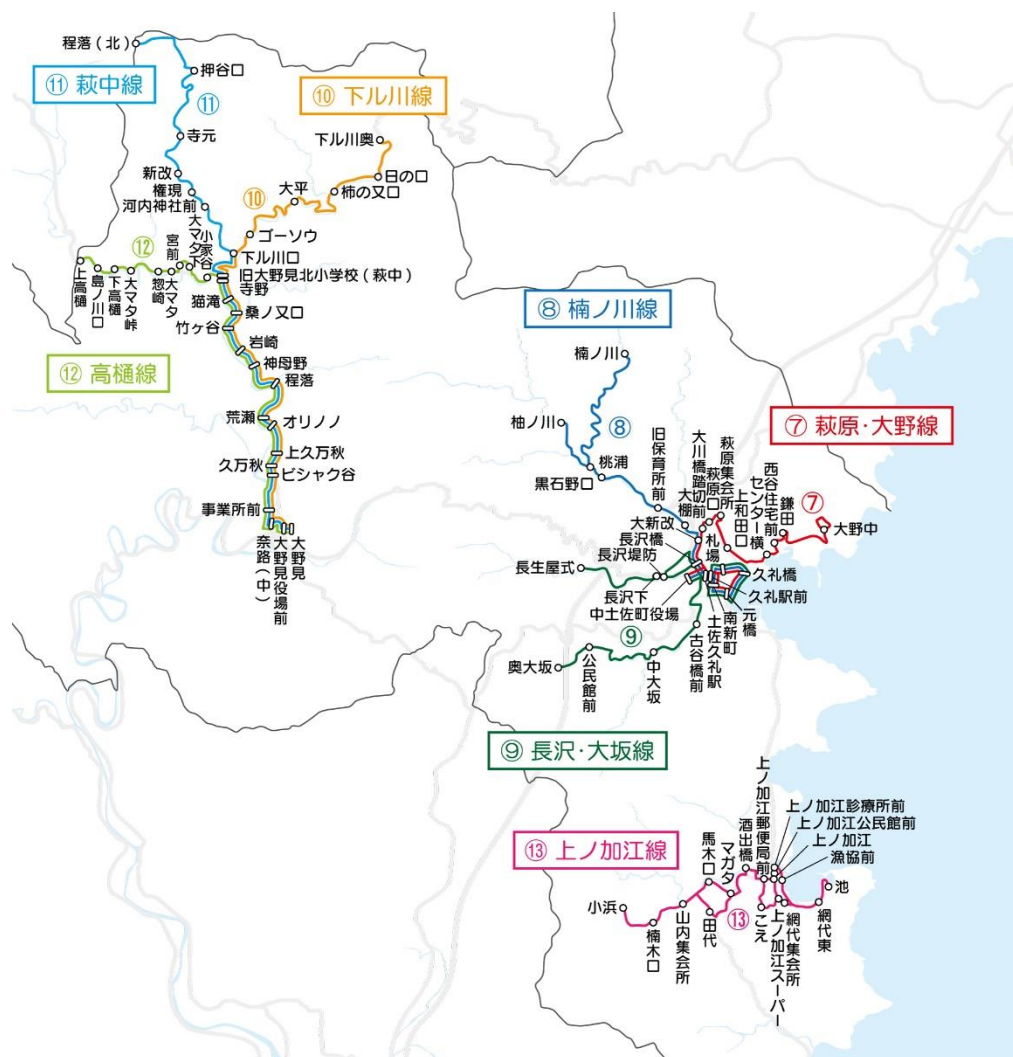
	2019年度 （令和元）	2020年度 （令和2）	2021年度 （令和3）	2022年度 （令和4）	2023年度 （令和5）
久礼駅-七子峠-大野見	3,431	2,864	2,368	2,549	2,681
久礼駅-夏枯峠-大野見	1,690	1,340	1,299	1,794	1,980
窪川-芹田-大野見	15,549	14,933	13,625	12,164	8,789
萩中-大野見	725	749	717	888	1,103
大野見-奥分吉野橋	126	74	131	228	145
年度別計	21,521	19,960	18,140	17,623	14,698

#### (4) コミュニティバス

町内の公共交通空白地区を解消する施策として、2013（平成25）年10月から久礼地区と大野見地区で本格運行を開始、2022（令和2）年10月より上ノ加江地区で本格運行を開始し、現在町内7路線運行している。

これまでに地域のニーズに合わせて毎年再編を行ってきている。

図：本町内を運行するコミュニティバス路線網



表：町内のコミュニティバス路線一覧（2023（令和5）年9月時点）

地区	路線名	運行曜日	運行の態様	運行事業者
久礼地区	萩原・大野線	月曜・木曜	路線定期	中土佐ハイヤー
	楠ノ川線	火曜・金曜		
	長沢・大坂線	水曜・土曜		
大野見地区	下ル川線	月曜・金曜		
	萩中線	火曜・木曜		
	高樋線	水曜・土曜		
上ノ加江地区	上ノ加江線	月曜・木曜		

表：中土佐町コミュニティバス年度別利用者数（人）

2018（平成30）年10月1日～2023（令和5）年9月30日

路線名	2019年度 （令和元）	2020年度 （令和2）	2021年度 （令和3）	2022年度 （令和4）	2023年度 （令和5）
萩原・大野線	539	307	668	676	821
楠ノ川線	1,257	1,440	1,109	1,053	984
長沢・大坂線	818	757	505	412	417
下ル川線	1,434	1,263	1,275	1,636	1,774
萩中線	1,412	1,403	1,406	1,438	1,297
高樋線	757	769	602	956	694
上ノ加江線	—	491	1,069	1,053	1,248
年度別計	6,217	6,430	6,634	7,224	7,235

※ 上ノ加江線は、2020年4月から実証運行開始、10月より本格運行に移行。

表：中土佐町コミュニティバスの利用状況詳細

（2022（令和4）年10月1日～2023（令和5）年9月30日）

路線名	運行 日数 （日）	日運行 回数 （回/日）	運行 回数 （回）	利用者数（人）	
				1日 平均	1回 平均
萩原・大野線	103	4.0	412.0	821	1.99
楠ノ川線	104	3.5	364.0	984	2.70
長沢・大坂線	105	4.0	420.0	417	0.99
下ル川線	103	4.5	463.5	1,774	3.83
萩中線	104	4.5	468.0	1,297	2.77
高樋線	105	4.5	472.5	694	1.47
上ノ加江線	103	5.0	515.0	1,248	2.42
計	727	—	3,115.0	7,235	2.32

写真：中土佐町コミュニティバス



## (5) タクシー

本町内のタクシー事業者は、中土佐ハイヤーの1事業者のみとなっている。



### 中土佐ハイヤーの営業概要

#### ■ 営業時間

午前8時00分～ 午後10時45分

#### ■ 所有車両

普通車：3台

ジャンボタクシー（9人乗り）：1台

#### ■ 乗務員数

乗務員4人の交替で常時2人体制（繁忙期には3人）

## 2-4-3. 公共交通利用者を支える支援制度




### (1) 中土佐町高齢者等外出支援・路線バス無料化事業（バスパス）

平成 22 年より、本町独自の事業として、「中土佐町高齢者等外出支援・路線バス無料化事業」を実施している。

この制度は、町内在住の 65 歳以上の高齢者や障害者等の移動困難者が、役場での事前手続きを経たうえで、高知高陵交通、四万十交通、中土佐ハイヤーが運行するバス路線（コミュニティバスを含む）を無料で利用できる制度であり、高齢者や障害者等の社会活動の範囲を広げ、生活の質及び福祉の向上を図り、介護予防に寄与することを目的としている。

令和 5 年 10 月よりマイナンバーカードを活用した乗降システムを導入し、バス利用者の利便性向上とバス事業者の事務負担軽減を図ることを目的として県事業による実証運行を行っている。

バスパスの適用範囲は、本町内で乗車もしくは降車できる路線に限っており、例として久礼駅前乗車し、須崎市内で降車しても運賃は無料となる。

<p>記入式バスパス</p>	<p>バスパス利用者は、乗車停留所と降車停留所をバスパス利用報告書に記入し、降車時に無料乗車証を提示するとともに、報告書を運賃箱に投入する。</p>		
<p>マイナンバーカード活用</p>	<p>マイナンバーカードに ID 登録を行うことで、乗降時に読み取り機にかざすだけで利用可能となる。</p>		

表：バスパス対象者数の内、申請者数（令和 6 年 1 月 1 日現在）

	令和 6 年 1 月 1 日における状況			
			内、障害者用等 (令和 5 年 12 月末時点)	
対象者数	3,293 人		内、503 人	
バスパス申請者数	1,157 人	35.1%	内、189 人	37.6%
マイナカード登録者数	538 人	46.5%	内、86 人	45.5%

## (2) 中土佐町高齢者等外出支援・福祉タクシー事業

平成 22 年より、本町独自の事業として、「中土佐町高齢者等外出支援・福祉タクシー事業」を実施している。

高齢者や障害者等の社会活動の範囲を広め、生活の質及び福祉の向上を図り、介護予防に寄与することを目的として、通院、買い物及び訪問等にタクシーを利用する場合、その料金の一部を助成する制度である。事前の手続きを経て助成対象として認められると、中土佐ハイヤーや介護タクシーを利用できるチケット（580 円券）を、役場庁舎からの距離に応じた枚数を交付される。

住所から庁舎までの距離	5km 未満	5km 以上 10km 未満	10km 以上
チケット交付枚数	20 枚	30 枚	40 枚

## (3) 高等学校等生徒通学費等助成事業

平成 22 年より、本町独自の事業として、「高等学校等生徒通学費等助成事業」を実施している。

対象者は町内に住所を有し、高等学校または高等専門学校に在学している生徒（未成年に限る）を養育している方で、町税及び国民健康保険税を滞納していない方。高等専門学校に在学している生徒は 3 年生在学までが対象となり、次のとおり助成される。

- 自宅から通学している場合、公共交通機関の定期乗車券購入費用の 3 分の 2 以内で、一ヶ月 10,000 円を上限として助成される。
- 寮及び下宿、または賃貸住宅等を借り上げている場合、その費用の 3 分の 2 以内で、一ヶ月 10,000 円を上限として助成される。ただし、食費は含まれない。



## 2-4-4. バスの運行に係る収支

### (1) 路線別に見た運行に係る収支

表：路線バスの収支

(2022(令和4)年10月1日～2023(令和5)年9月30日)

		運行経費 (千円)	運賃収入 (千円)	収支 (千円)	収支率 (%)
高知 高陵 交通	須崎-久礼-矢井賀	4,348	69	▲ 4,279	1.6
	久礼駅-矢井賀	2,192	24	▲ 2,168	1.1
	須崎-多ノ郷-矢井賀	22,191	2,159	▲ 20,032	9.7
	小計	28,731	2,252	▲ 26,479	7.8
四万十 交通	久礼駅-七子峠-大野見	11,547	1,169	▲ 10,378	10.1
	久礼駅-夏枯峠-大野見	4,530	805	▲ 3,725	17.8
	窪川-芹田-大野見	16,122	3,246	▲ 12,876	20.1
	萩中-大野見	1,568	241	▲ 1,327	15.4
	大野見-奥分吉野橋	1,147	45	▲ 1,102	3.9
小計	34,914	5,506	▲ 29,408	15.8	
路線バス計		63,645	7,758	▲ 55,887	12.2

表：コミュニティバスの収支

(2022(令和4)年10月1日～2023(令和5)年9月30日)

		運行経費 (千円)	運賃収入 (千円)	収支 (千円)	収支率 (%)
コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス	萩原・大野線	2,029	96	▲ 1,933	4.7
	楠ノ川線	1,970	112	▲ 1,858	5.7
	長沢・大坂線	2,807	55	▲ 2,752	2.0
	下ル川線	2,981	191	▲ 2,790	6.4
	萩中線	3,245	142	▲ 3,103	4.4
	高樋線	2,541	82	▲ 2,459	3.2
	上ノ加江線	2,212	138	▲ 2,074	6.2
コミュニティバス計		17,785	816	▲ 16,969	4.6

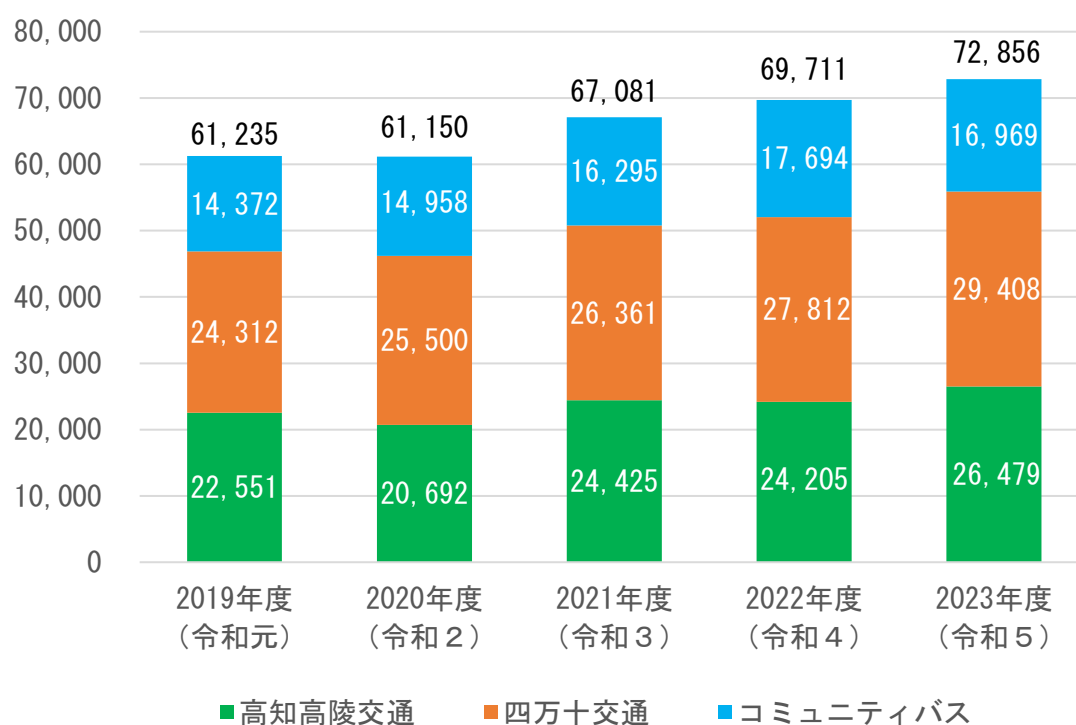
## (2) バスの運行に係る公的資金投入額とその推移

表：バスの運行に対する公的資金投入額（単位：千円）

2018（平成30）年10月1日～2023（令和5）年9月30日

	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
高知高陵交通	22,551	20,692	24,425	24,205	26,479
四万十交通	24,312	25,500	26,361	27,812	29,408
コミュニティバス	14,372	14,958	16,295	17,694	16,969
計	61,235	61,150	67,081	69,711	72,856

図：公的資金投入額の推移（単位：千円）



表：利用者一人当たりの公的資金投入額（単位：円）

2018（平成30）年10月1日～2023（令和5）年9月30日

	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
高知高陵交通	628	651	789	766	833
四万十交通	1,130	1,278	1,453	1,578	2,001
コミュニティバス	2,312	2,326	2,456	2,449	2,345



## 2-5. 地域の交通安全

### 2-5-1. 町内の事故発生状況

表：人身事故による関係する人の推移（単位：件）

内訳	2018年 (平成30)	2019年 (令和元)	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2022年 (令和4)
人身事故発生件数	2	4	5	5	2
内、高齢者が関係する事故	1	3	4	3	1
内、子どもが関係する事故	0	0	0	0	0

出典：須崎警察署

表：事故の発生場所の内訳（単位：件）

内訳	2018年 (平成30)	2019年 (令和元)	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2022年 (令和4)
人身事故発生件数	2	4	5	5	2
内、国道56号沿線での事故	1	2	1	2	1
内、国道56号以外での事故	1	2	4	3	1

出典：須崎警察署

表：人身事故による死傷者数の推移（単位：件、人）

内訳	2018年 (平成30)	2019年 (令和元)	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2022年 (令和4)
人身事故発生件数	2	4	5	5	2
事故による死者数	0	1	0	0	0
事故による負傷者数	2	3	5	5	2

出典：須崎警察署

### 2-5-2. 自動車運転免許証

表：普通運転免許保有者数の推移（単位：人、%）

項目	2018年 (平成30)	2019年 (令和元)	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2022年 (令和4)
普通免許保有者数	4,388	4,310	4,182	4,106	4,033
人口	7,050	6,868	6,693	6,473	6,283
免許保有者の割合	62.2%	62.8%	62.5%	63.4%	64.2%

出典：須崎警察署

表：運転免許返納者数の推移（単位：人、%）

項目	2018年 (平成30)	2019年 (令和元)	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2022年 (令和4)
返納者数	14	16	16	19	15
返納者数の割合	0.32%	0.37%	0.38%	0.46%	0.37%

出典：須崎警察署

## 2-6. 現状の整理

### 2-6-1. 地域の現状から

#### 1. 人口の動態より

- 1-① 人口の減少が続いており、1955（昭和 30）年（旧中土佐町と旧大野見村の合計）と比較して、2020（令和 2）年には当時の約 38%まで減少している。
- 1-② 一世帯当たりの構成人員数が 2017（平成 29）年（2.01 人/世帯）を最後に、2.0 人/世帯を下回っており、2023（令和 5）年には 1.859 人/世帯となっている。このことから、町内の独居世帯数が増加していると判断できる。
- 1-③ 高齢化率の上昇が続いているが、高齢者の数そのものはすでに減少局面に入っている。また、高齢者の数より働き手や子どもの減少数がさらに大きくなっている。
- 1-④ 久礼地区と大野見地区の中心部には様々な生活に必要となる機能が集積している。一方で、矢井賀地区や大野見地区の北部、南部には立地していない。

#### 2. 住民アンケート調査より

- 2-① バスパスを利用していない理由として、自家用車を利用できることが突出しているが、「自家用車を利用できるから公共交通を利用しない」、「自家用車を利用できなくなったら公共交通」と二者択一のように考えられているのではないかと推測される。
- 2-② タクシー事業者が撤退してしばらく経つ大野見地区では、デマンド交通の導入を要望する声が多くなっている。また、大野見地区内でコミュニティバスを利用し、久礼地区に行くためには路線バス（四万十交通）への乗り換えが必要な状況への不満が寄せられている。
- 2-③ 車やバイクといった独自の移動手段を使える人と、そうでない人の通院や買い物といった行動には明確な違いがあり、独自の移動手段を使えない人の移動の範囲や時間帯は制約があることが分かる。
- 2-④ 自身以外の運転を含む自動車やバイクといった独自の移動手段を持つ人は買い物を自由な時間に済ませているが、独自の移動手段を持たない人は、午前中に済ませる傾向が強い。
- 2-⑤ バス車両の小型化やデマンド運行（予約方式）が、即経費節減につながるという提案が数多く寄せられている。実際は経費節減につなげるのは難しい現状があり、公共交通に対する思い込みや誤った情報が拡散されていることが危惧される。
- 2-⑥ 全体的に鉄道、路線バス、コミュニティバスの異なるモード間における接続できる回数が少ないことや、実際に接続できていない状況について不満や改善要望がだされている。

#### 3. バス利用者アンケート調査より

- 3-① 路線バス（高知高陵交通、四万十交通）は、「運行経路」、「運行ダイヤや乗り継ぎの利便性」、「運賃設定」、「路線とダイヤのわかりやすさ」の全項目で満足傾向にあることが示されている。
- 3-② コミュニティバスは運行経路について満足度は高いが、ダイヤや乗り継ぎについては満足度が低くなり不満も提示されている。また、バス停掲示物に対する不満が寄せられている。

#### 4. 地区別意見交換より

- 4-① 路線バスやコミュニティバスで外出した際、目的地では 60 分～90 分程度の滞在時間が欲しいとの要望が複数寄せられている。帰り便を待つ時間が長すぎるのも困るという意見もある。
- 4-② 中土佐町役場バス停が路線バス同士や路線バスとコミュニティバスの乗り換え設定場所になっているが、座って待てるベンチがなく、休日には役場が開いていないためトイレが使えず不満につながっている。
- 4-③ バスバスの制度に対して感謝の気持ちを持つ高齢者が多い。
- 4-④ 土佐久礼駅から須崎市や高知市方面に向かう普通列車が大幅に減少し、利用しづらくなっている。便数が限られた鉄道とバスとの接続は、時間に余裕をもって設定してもらいたいとの要望が示されている。
- 4-⑤ 大野見地区コミュニティバスの夕方の下り便について、旧大野見北小学校前で止めず、終点まで運行してもらいたいとの要望が出されている。

#### 5. 関係者ヒアリングより

- 5-① バス乗務員の年収は同年齢平均の半分を少し超えた程度にとどまっている。加えて数年後には乗務員不足が予測されている。
- 5-② 高知高陵交通は令和 6 年 10 月に路線再編を予定しており、令和 7 年 10 月に矢井賀線の再編が想定されている。
- 5-③ 上ノ加江地区唯一の量販店である上ノ加江スーパーは事業規模を縮小しており、廃業を視野に入れている。ピコット久礼店に続いて上ノ加江スーパーも廃業となると、上ノ加江地区の特に高齢者への影響が大きい。
- 5-④ タクシーのニーズは午前中に集中しており、要請してもすぐには対応できない場合がある。お昼を過ぎるとタクシーの要請も減っており、夜のニーズはほぼなくなっている。
- 5-⑤ 量販店や医療施設では、付近を運行する公共交通のダイヤなどについてはある程度理解はあるものの、運行再編や運行サービスの詳しい情報などは知らない例が見られる。

### 2-6-2. 公共交通の現状から

#### 1. 公共交通路線網の現状より

- 1-① 本町における公共交通空白地区はほぼ解消できている。残る公共交通空白地区においては、独自の移動手段を持たず移動に困窮している住民は現状では存在していない。
- 1-② 久礼一大野見間を運行する路線バス（久礼駅—夏枯峠—大野見）の県道 41 号線は、奥分吉野橋から長沢まで長距離にわたって人家が無く、カーブが多い単車線であり、乗務員にとって過酷な状況となっている。
- 1-③ 大野見地区にタクシーの営業拠点が無くなり、住民の利便性低下といざという時の移動手段確保に対する不安につながっていることが伺える。
- 1-④ 鉄道の 2023（令和 5）年 3 月改正にて、普通列車の運行回数が上下各 5 本ずつとなっており、5 年前（上り：6 本、下り：7 本）と比較して減少している。特急列車は運行本数を維持している。

## 2. 公共交通の利用状況より

- 2-① 公共交通利用者の流れとして、久礼地区や須崎市方面への移動が多くなっている。
- 2-② 路線バスの利用者数はコロナ禍の影響を大きく受けており、コロナ禍前に比べて全体的に減少している。令和5年に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから利用者数が戻りつつあり、一部にはコロナ禍前を上回る利用がされている路線もある。
- 2-③ 大野見北部の路線バス萩中―大野見線は利用者数が増加傾向にあるが、日曜日の昼間の便は利用が低迷している。一ヶ月に利用者数が0人という月も複数確認できる。
- 2-④ コミュニティバスは全体的に見るとコロナ禍のさなかであっても徐々に利用者数は増加しており、2023（令和5）年度は7千人を超えて過去最高の利用者数となっている。
- 2-⑤ コミュニティバス長沢・大坂線では、長沢区間の末端である長生屋式で令和5年度中に利用者が0人となっている。一方で大坂区間の末端である奥大坂では、以前は利用が少なかったものの現在では多くの利用がされている。
- 2-⑥ 大野見地区のコミュニティバス3路線（下ル川線、萩中線、高樋線）は令和5年6月から7月以降に利用者数が減少している。詳細な聞き取りを行った結果、コミュニティバスを高頻度で利用していた利用者の利用が無くなったことが確認された。
- 2-⑦ 大野見地区のコミュニティバス3路線が共有している区間の内、程落―上久万秋の区間では利用者が極端に少ない状況となっている。

## 3. 公共交通利用者を支える支援制度より

- 3-① マイナンバーカードを活用したバスパスの運用について、利用者及び乗務員から歓迎されている。これまでの筆記式バスパスも併用していることにより、運行事業者の事務作業がさらに増加していることが伺える。

## 4. バスの運行に係る収支より

- 4-① 路線別に見た収支率は、路線バスが平均すると12.2%、コミュニティバスが4.6%となっている。コミュニティバスは運賃が大人で100円と低額に抑えられていることがその理由と考えられる。
- 4-② バス利用者数が減少傾向にある一方で、バスの運行を支える公的資金投入額は増加し続けている。
- 4-③ 利用者一人当たりの公的資金投入額も増加傾向にある。

## 5. 地域の交通安全より

- 5-① 町内で発生する人身事故のほとんどが高齢者が関わっている。また、過去5年間の人身事故は全てが単独事故であると推測される。
- 5-② 自動車運転免許証の自主返納者数は、ここ5年間でわずかな変動が見られるものの、年平均で16人となっている。